

亀岡市国民健康保険
第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)
第3期特定健康診査等実施計画

平成30年度～平成35年度



平成30年3月
亀岡市

第1章 計画策定について	
1. 背景	1
2. 位置付け・目的	1
3. 計画期間	2
4. 計画の進行管理	2
第2章 亀岡市の現状	
1. 人口推移	3
2. 亀岡市国民健康保険の状況	4
第3章 医療の状況	
1. 医療費等の状況	5
2. 死因の状況	6
3. 疾病別医療費の状況	7
(1) 大分類による疾病別医療費の状況	7
(2) 中分類による疾病別医療費の状況	11
(3) 高額レセプトの分析	21
4. 介護認定の状況	25
(1) 介護認定率の状況	25
(2) 介護認定者の有病状況	27
第4章 保健事業に係る分析	
1. 特定健診に係る保健事業対象者の状況	28
2. 特定健診の実施状況	29
(1) 受診状況	29
(2) メタボリックシンドロームの状況	31
(3) 特定健診結果有所見者の状況	33
(4) 質問別回答状況	43
3. 特定保健指導の実施状況	51
4. 健診異常値放置者の状況	53
5. 生活習慣病治療中断者の状況	54
6. 人工透析患者の状況	55
7. 重複多受診者の状況	56
8. ジェネリック医薬品普及率の状況	57
第5章 データヘルス計画(第1期)の振り返りと考察	
1. 第1期計画の達成状況	58
2. 第1期計画の各事業実施内容	60
(1) 特定健診	60
(2) 特定健診未受診者受診勧奨	61
(3) 健康情報提供サービス「クピオ」	61
(4) 特定保健指導	62
(5) 健診異常値放置者受診勧奨	63
(6) 糖尿病重症化予防事業	64

	(7) ドック追跡調査	65
	(8) 重複多受診者訪問指導	65
	(9) ジェネリック医薬品差額通知事業	66
	(10) 医療費通知	66
第6章	第2期保健事業実施計画	
	1. 健康課題と対策	67
	2. 保健事業実施計画の概要	68
	(1) 重点的に取り組む保健事業実施計画	68
	(2) その他の保健事業計画	70
	3. 重点的に取り組む保健事業の実施内容について	72
	(1) 特定健診	72
	(2) 特定健診未受診者受診勧奨	72
	(3) 特定保健指導	73
	(4) 健診異常値放置者受診勧奨	73
	(5) 糖尿病予備群対策	74
	(6) 糖尿病治療中断者受診勧奨	74
	(7) 糖尿病性腎症重症化予防	75
	(8) 重複多受診者訪問指導	75
	4. その他の保健事業の実施内容について	76
	(1) 人間ドック・脳ドック	76
	(2) ドック追跡調査	76
	(3) 歯周疾患健診	77
	(4) 健康相談	77
	(5) 健康情報提供サービス「クピオ」	78
	(6) ジェネリック医薬品差額通知	78
	(7) 医療費通知	79
	(8) 柔道整復術療養費適正化	79
第7章	第3期特定健康診査等実施計画	
	1. 計画策定の背景	80
	2. 計画策定の目的	80
	3. 目標値の設定	81
	(1) 特定健診の実施率	81
	(2) 特定保健指導の実施率	82
	4. 特定健診の実施	83
	(1) 特定健診の基本的な考え方	83
	(2) 実施方法	83
	(3) 健診項目	84
	5. 特定保健指導の実施	85
	(1) 保健指導の基本的な考え方	85
	(2) 実施方法	86

6. 年間スケジュール	88
第8章 計画の推進	
1. 計画の評価及び見直し	89
2. 計画の公表・周知	89
3. 個人情報の保護	90
4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	90
5. 事業運営上の留意事項	91
(1) 計画の推進	91
(2) 関係機関との連携	91
(3) 地域との連携	91
(4) 関連各課との連携	91
用語解説集	

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としています。保健事業実施計画(データヘルス計画)の目的は、健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すことです。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしています。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる人を明確にし、優先順位をつけて行います。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としています。こうした背景を踏まえて策定したデータヘルス計画(第1期)を見直すとともに、第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)を策定して、被保険者の健康維持増進を図ります。

2. 位置付け・目的

本計画は、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健診等の結果やレセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って実施します。

また、健康増進法に基づく21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))の基本的な方針である健康寿命の延伸と健康格差の縮小等を踏まえるとともに、京都府の策健康増進計画「きょうと健やか21」や亀岡市で策定している健康増進計画「かめおか健康プラン21」、「特定健康診査等実施計画」等との整合性を図り実施します。

策定にあたっては、第3期特定健康診査等実施計画を第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の一部として位置付け、一体的に策定します。

3. 計画期間

本計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とします。

■ 計画期間

平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
亀岡市特定健康診査等実施計画(第2期)					第2期亀岡市国民健康保険保健事業実施計画 第3期亀岡市特定健康診査等実施計画					
			亀岡市国民健康保険 データヘルス計画 (第1期)							

4. 計画の進行管理

本データヘルス計画の遂行に当たっては、亀岡市国民健康保険担当課(保険医療課)が実施主体となり、関係各課(衛生・介護等)との連携を図り、事業を推進します。

また、医療機関や地域組織等の関係機関との連携を確立し、計画の円滑な推進を図ります。

第2章 亀岡市の現状

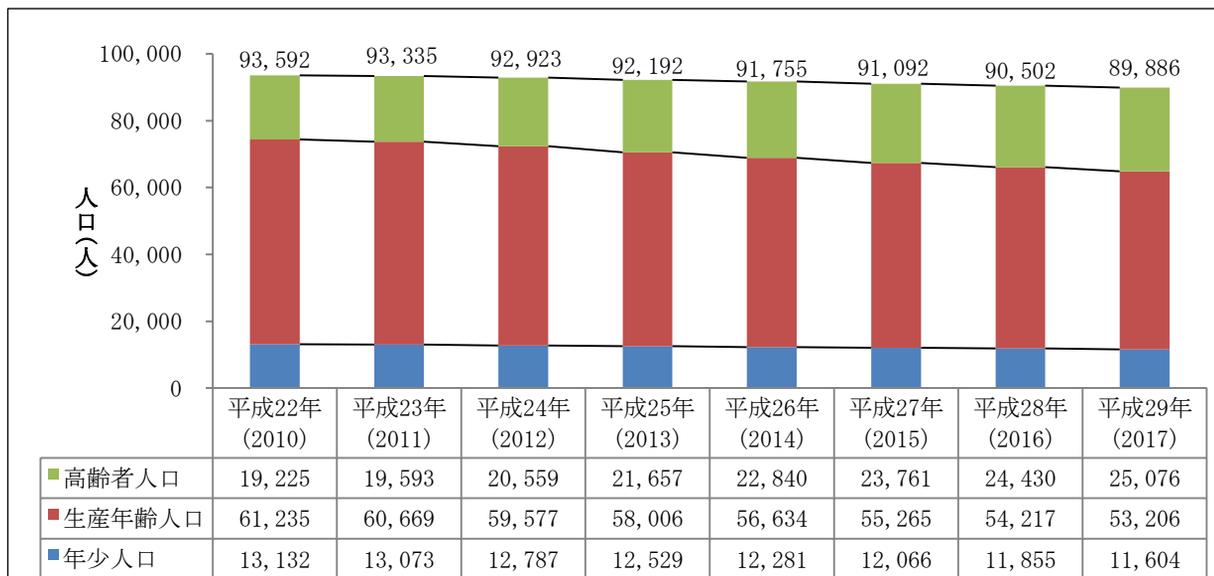
1. 人口推移

亀岡市の人口は平成29年10月1日現在で、89,886人となっており、平成22年と比較して、3,706人の減少となっています。

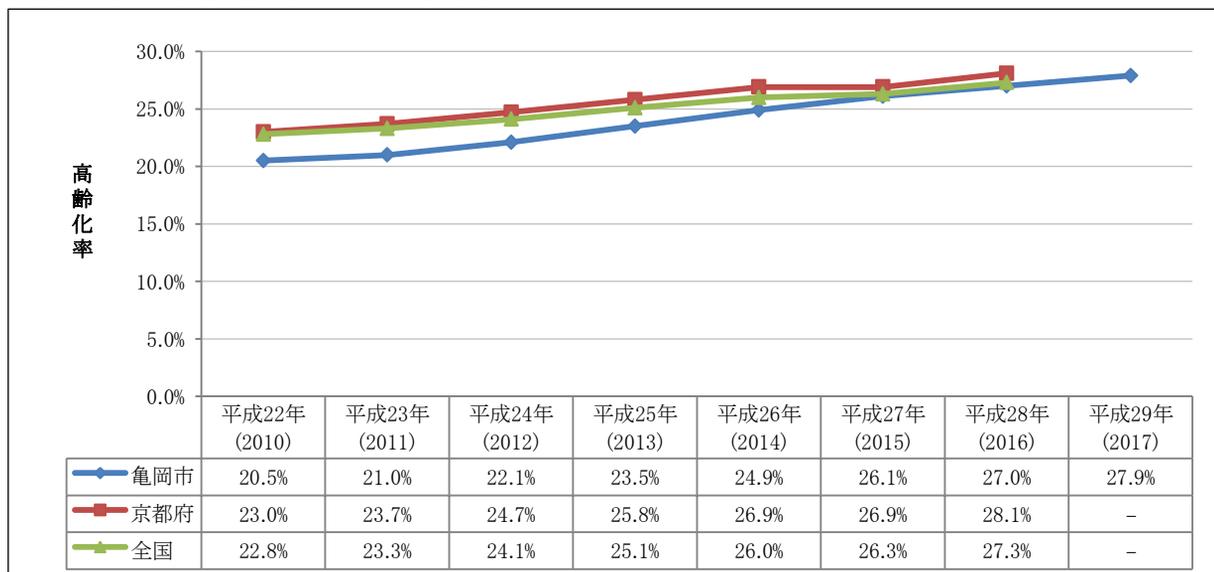
年齢区分別にみると、年少人口(0歳から14歳)、生産年齢人口(15歳から64歳)は減少傾向で推移していますが、高齢者人口(65歳以上)は増加しています。

総人口に占める高齢者人口の割合(高齢化率)は、現在27.9%となっており、全国の高齢化率と比較して若干低く推移してきているものの毎年上昇しており、その実数も確実に増加しています。

人口の推移(各年10月1日現在)



高齢化率の推移(各年10月1日現在)

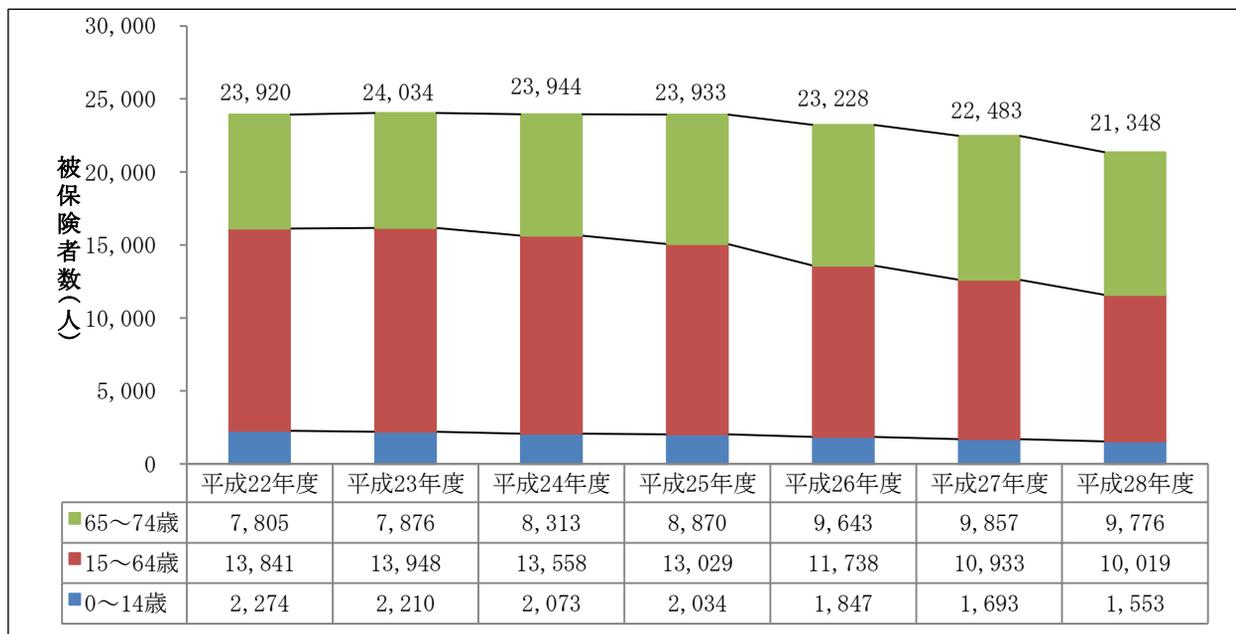


※平成29年の全国、京都府の数値は未公表

2. 亀岡市国民健康保険の状況

亀岡市国民健康保険被保険者数は、平成28年度は、21,348人で、年々減少していますが、年齢別の被保険者数構成比では、65～74歳の割合は45.8%で、年々増加しています。

国民健康保険被保険者数の推移



出典：年齢階級別被保険者数・国保加入率(各年度3月末)

第3章 医療の状況

1. 医療費等の状況

平成28年度における医療基礎情報を示しています。受診率は、国や同規模より低い状況です。一件当たりの医療費は、国や府、同規模より高く、入院費用の割合や入院率も国や府より高い状況です。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	亀岡市	府	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.2	0.3	0.3	0.3
診療所数	2.7	3.6	2.8	3.0
病床数	28.9	53.2	50.3	46.8
医師数	5.0	12.6	7.5	9.2
外来患者数	654.0	646.8	688.2	668.1
入院患者数	19.3	17.5	19.8	18.2
受診率	673.3	664.3	708.0	686.3
一件当たり医療費(円)	37,730	37,240	36,130	35,330
一般(円)	37,760	37,200	36,080	35,270
退職(円)	36,710	39,140	37,660	37,860
外来				
外来費用の割合	57.3%	59.6%	59.3%	60.1%
外来受診率	654.0	646.8	688.2	668.1
一件当たり医療費(円)	22,270	22,790	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	14,560	14,740	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	14,360	14,050	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.6	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	42.7%	40.4%	40.7%	39.9%
入院率	19.3	17.5	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	562,440	570,060	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	10,840	10,000	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	36,480	38,850	32,470	34,030
一件当たり在院日数	15.4	14.7	16.2	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 死因の状況

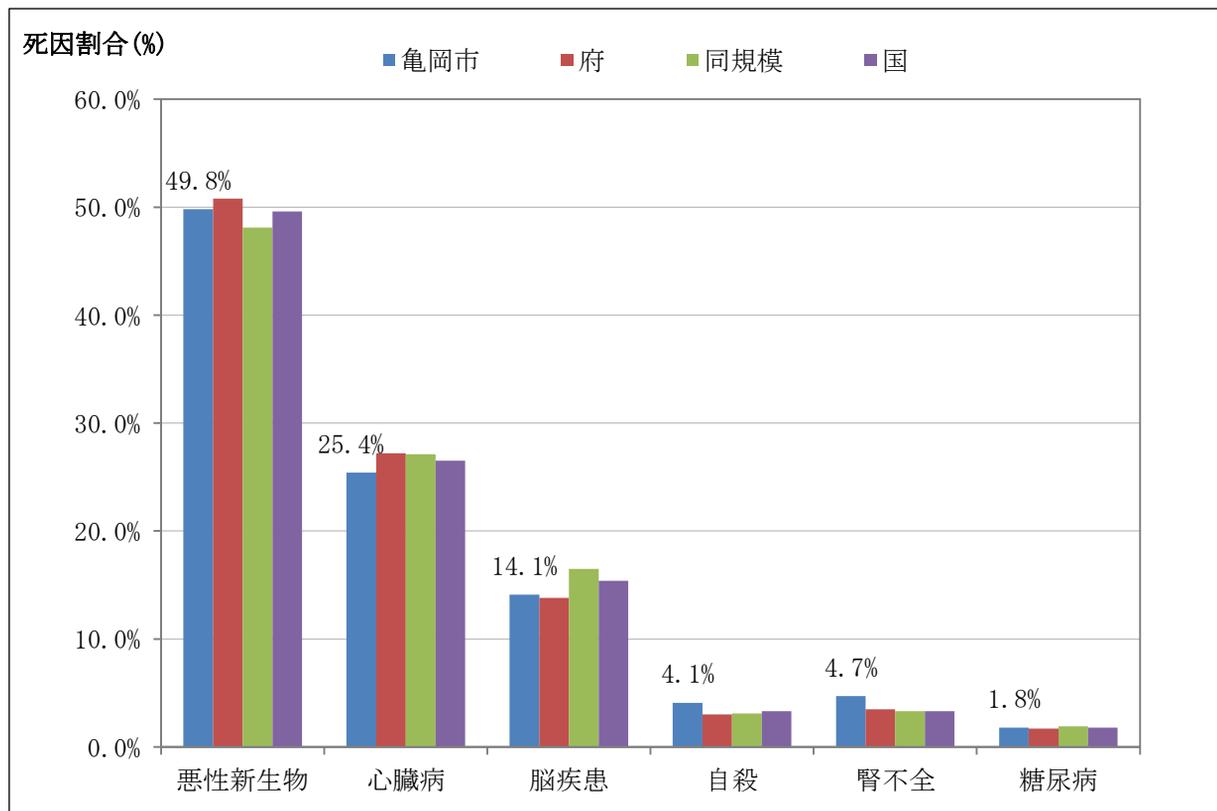
本市の平成28年度における、主たる死因(6項目)の状況を示しています。最も高い割合が、悪性新生物で約50.0%で、ついで、心臓病、脳疾患が高い割合です。また、腎不全の割合は低いですが、国や府、同規模に比べて高い傾向にあります。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	亀岡市		府	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	243	49.8%	50.8%	48.1%	49.6%
心臓病	124	25.4%	27.2%	27.1%	26.5%
脳疾患	69	14.1%	13.8%	16.5%	15.4%
自殺	20	4.1%	3.0%	3.1%	3.3%
腎不全	23	4.7%	3.5%	3.3%	3.3%
糖尿病	9	1.8%	1.7%	1.9%	1.8%
合計	488				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

3. 疾病別医療費の状況

(1) 大分類による疾病別医療費の状況

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「循環器系の疾患」が医療費合計の16.0%で「新生物<腫瘍>」は医療費合計の14.4%と高い割合を占めています。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示します。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	216,197,978	3.3%	11	22,494	12	6,193	8	34,910	15
II. 新生物<腫瘍>	937,085,079	14.4%	2	24,502	10	5,689	9	164,719	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	53,795,514	0.8%	15	6,869	16	1,742	16	30,881	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	622,307,822	9.6%	3	96,440	2	9,325	3	66,735	11
V. 精神及び行動の障害	436,005,976	6.7%	7	28,419	8	2,449	14	178,034	2
VI. 神経系の疾患	392,801,647	6.0%	8	43,195	6	4,276	12	91,862	8
VII. 眼及び付属器の疾患	238,628,941	3.7%	10	26,133	9	6,910	7	34,534	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	23,269,992	0.4%	19	5,679	17	1,969	15	11,818	21
IX. 循環器系の疾患	1,039,311,322	16.0%	1	99,641	1	8,710	4	119,324	4
X. 呼吸器系の疾患	371,917,831	5.7%	9	51,523	5	10,487	1	35,465	14
X I. 消化器系の疾患 ※	498,458,282	7.7%	5	77,015	3	9,383	2	53,124	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	166,407,432	2.6%	13	29,396	7	7,074	6	23,524	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	616,966,895	9.5%	4	63,011	4	8,276	5	74,549	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	457,641,526	7.0%	6	22,879	11	4,493	11	101,857	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	18,019,794	0.3%	20	512	20	175	20	102,970	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	12,813,324	0.2%	21	96	21	41	21	312,520	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	24,152,088	0.4%	18	1,116	19	339	18	71,245	10
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	111,480,949	1.7%	14	21,479	13	4,773	10	23,357	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	210,709,962	3.2%	12	12,980	14	3,921	13	53,739	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	30,088,939	0.5%	17	7,819	15	1,424	17	21,130	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	31,632,867	0.5%	16	1,374	18	338	19	93,588	7
合計	6,509,694,160			269,160		19,722		330,073	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

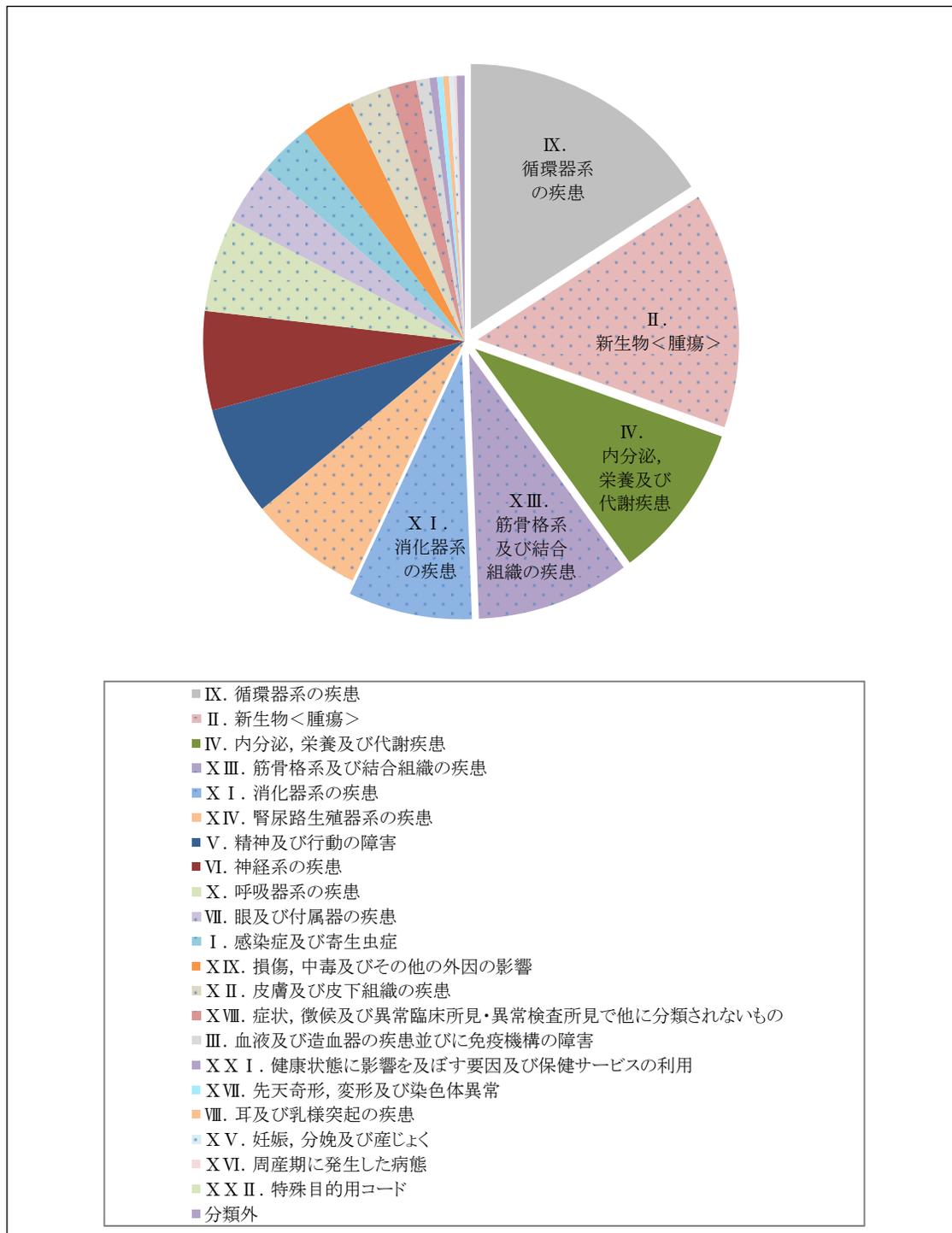
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の順に高い割合を占めています。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度のレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示します。

年度別 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示します。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	139,424,420	2.1%	12	278,390,219	3.9%	10	216,197,978	3.3%	11
II. 新生物<腫瘍>	879,337,289	13.3%	2	1,062,502,961	14.7%	2	937,085,079	14.4%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	60,511,802	0.9%	15	90,055,682	1.2%	15	53,795,514	0.8%	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	612,933,732	9.3%	4	664,791,980	9.2%	3	622,307,822	9.6%	3
V. 精神及び行動の障害	428,715,178	6.5%	6	426,519,910	5.9%	8	436,005,976	6.7%	7
VI. 神経系の疾患	382,196,279	5.8%	8	438,908,923	6.1%	7	392,801,647	6.0%	8
VII. 眼及び付属器の疾患	259,760,071	3.9%	11	277,722,997	3.9%	11	238,628,941	3.7%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	22,599,421	0.3%	18	26,046,823	0.4%	19	23,269,992	0.4%	19
IX. 循環器系の疾患	1,144,784,695	17.4%	1	1,149,290,732	15.9%	1	1,039,311,322	16.0%	1
X. 呼吸器系の疾患	376,036,381	5.7%	9	413,499,724	5.7%	9	371,917,831	5.7%	9
X I. 消化器系の疾患 ※	529,066,855	8.0%	5	550,125,227	7.6%	5	498,458,282	7.7%	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	130,364,389	2.0%	13	154,210,384	2.1%	13	166,407,432	2.6%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	701,347,644	10.6%	3	652,350,778	9.1%	4	616,966,895	9.5%	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	427,368,049	6.5%	7	475,346,490	6.6%	6	457,641,526	7.0%	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	15,561,688	0.2%	20	22,907,180	0.3%	20	18,019,794	0.3%	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	13,028,488	0.2%	21	30,859,386	0.4%	18	12,813,324	0.2%	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	22,165,528	0.3%	19	19,775,121	0.3%	21	24,152,088	0.4%	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	115,288,600	1.7%	14	142,668,822	2.0%	14	111,480,949	1.7%	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	263,807,014	4.0%	10	256,681,707	3.6%	12	210,709,962	3.2%	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	27,597,167	0.4%	17	31,655,604	0.4%	17	30,088,939	0.5%	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	43,397,050	0.7%	16	42,286,890	0.6%	16	31,632,867	0.5%	16
合計	6,595,291,740			7,206,597,540			6,509,694,160		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

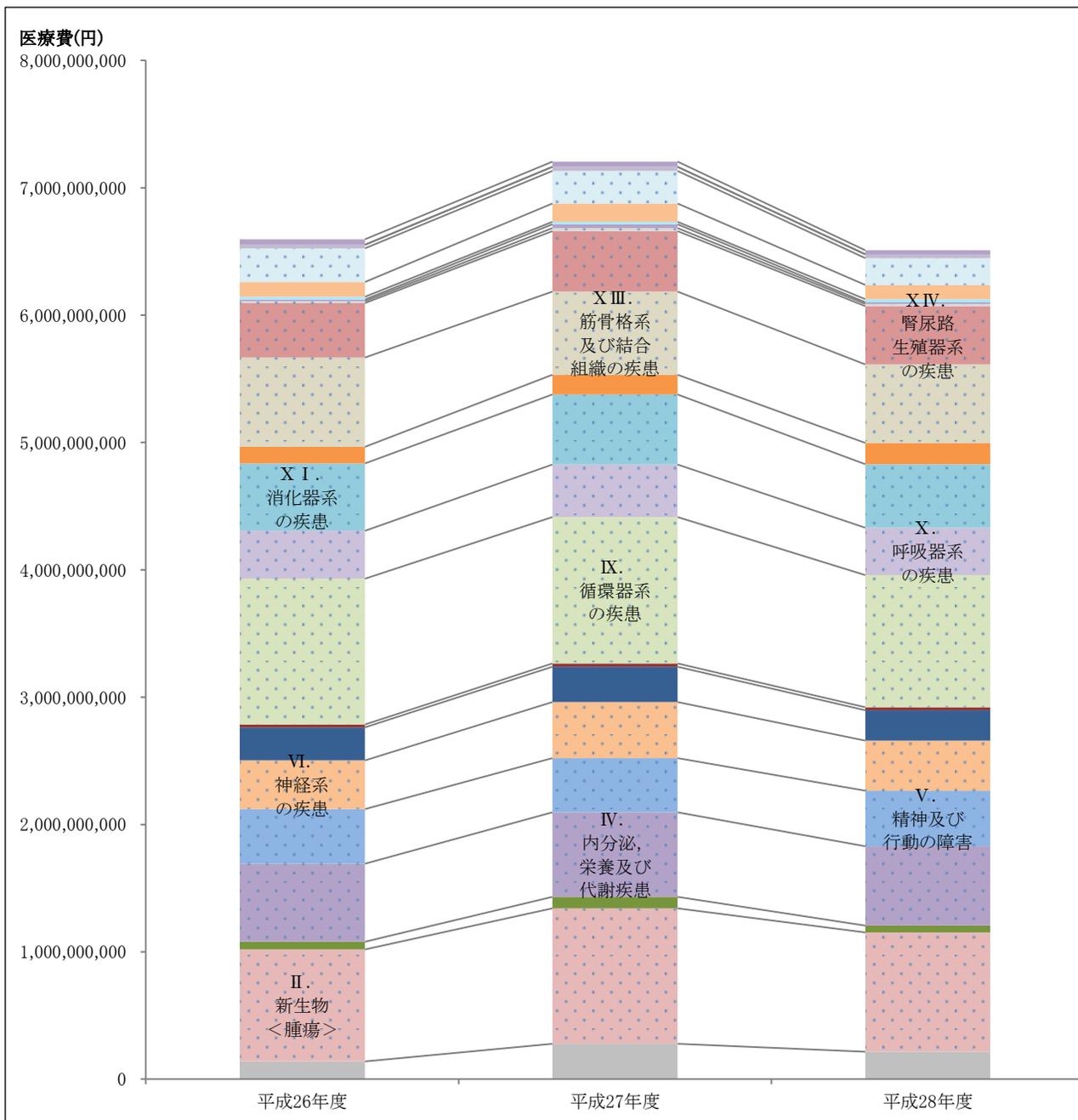
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…毎月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2) 中分類による疾病別医療費の状況

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示します。

中分類による疾病別医療費・患者数をみると、「高血圧疾患」「糖尿病」「脂質異常症」など、生活習慣病に関連する疾患が患者数が多いため医療費も上位にあります。生活習慣病が重症化し合併症として発症することが多い、「その他の心疾患(心不全など)」「虚血性心疾患」が、患者数は「高血圧性疾患」などと比べて少ないですが、医療費統計は上位にあります。「腎不全」においては患者数は「高血圧性疾患」の約1割にも関わらず医療費統計の第2位を占めています。また、患者一人当たりの医療費が高額な統計では、「白血病」「腎不全」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」が上位にあります。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	337,308,477	5.2%	6,465
2	1402	腎不全	319,932,122	4.9%	557
3	0402	糖尿病	317,094,474	4.9%	5,871
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	291,528,441	4.5%	2,498
5	1113	その他の消化器系の疾患	285,411,821	4.4%	5,940
6	0903	その他の心疾患	238,456,816	3.7%	3,571
7	0403	脂質異常症	209,608,969	3.2%	5,109
8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,776,611	3.2%	632
9	0606	その他の神経系の疾患	171,842,929	2.6%	3,739
10	0902	虚血性心疾患	157,704,446	2.4%	2,195

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	337,308,477	6,465	32.8%
2	1113	その他の消化器系の疾患	285,411,821	5,940	30.1%
3	0402	糖尿病	317,094,474	5,871	29.8%
4	1003	その他の急性上気道感染症	35,852,633	5,245	26.6%
5	0703	屈折及び調節の障害	20,677,302	5,223	26.5%
6	0403	脂質異常症	209,608,969	5,109	25.9%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	82,265,012	5,014	25.4%
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	111,480,949	4,773	24.2%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	122,602,868	4,533	23.0%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	60,547,686	4,442	22.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0209	白血病	28,744,565	35	821,273
2	1402	腎不全	319,932,122	557	574,384
3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	82,381,465	158	521,402
4	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	49,815,886	104	478,999
5	1602	その他の周産期に発生した病態	10,094,682	24	420,612
6	0208	悪性リンパ腫	51,386,657	154	333,680
7	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	99,025,004	304	325,740
8	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	205,776,611	632	325,596
9	0601	パーキンソン病	45,002,528	159	283,035
10	0904	くも膜下出血	17,678,553	67	263,859

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示します。

平成26年度より10位以内の項目の変化はありませんが、「腎不全」「糖尿病」の順位が上がり医療費総計割合も増加しています。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	375,271,015	5.7%	6,473
	2	0402 糖尿病	299,134,376	4.5%	5,685
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	293,364,334	4.4%	2,520
	4	1402 腎不全	284,960,836	4.3%	464
	5	1113 その他の消化器系の疾患	284,622,332	4.3%	6,069
	6	0903 その他の心疾患	225,035,060	3.4%	3,226
	7	0403 脂質異常症	224,623,136	3.4%	5,093
	8	0902 虚血性心疾患	210,003,697	3.2%	2,282
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	195,950,619	3.0%	622
	10	0606 その他の神経系の疾患	164,203,753	2.5%	3,822
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	409,819,064	5.7%	2,561
	2	0901 高血圧性疾患	378,036,249	5.2%	6,555
	3	0402 糖尿病	329,067,499	4.6%	5,821
	4	1402 腎不全	317,220,524	4.4%	441
	5	1113 その他の消化器系の疾患	314,143,542	4.4%	6,145
	6	0903 その他の心疾患	239,989,485	3.3%	3,600
	7	0403 脂質異常症	232,243,040	3.2%	5,246
	8	0902 虚血性心疾患	219,895,061	3.1%	2,305
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	199,550,085	2.8%	641
	10	0606 その他の神経系の疾患	184,847,328	2.6%	3,819
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	337,308,477	5.2%	6,465
	2	1402 腎不全	319,932,122	4.9%	557
	3	0402 糖尿病	317,094,474	4.9%	5,871
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	291,528,441	4.5%	2,498
	5	1113 その他の消化器系の疾患	285,411,821	4.4%	5,940
	6	0903 その他の心疾患	238,456,816	3.7%	3,571
	7	0403 脂質異常症	209,608,969	3.2%	5,109
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,776,611	3.2%	632
	9	0606 その他の神経系の疾患	171,842,929	2.6%	3,739
	10	0902 虚血性心疾患	157,704,446	2.4%	2,195

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病の「高血圧性疾患」「糖尿病」「脂質異常症」など生活習慣病の順位は平成26年度より変化はありませんでした。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	375,271,015	6,473	31.5%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	284,622,332	6,069	29.6%
	3	0402 糖尿病	299,134,376	5,685	27.7%
	4	0703 屈折及び調節の障害	24,145,885	5,473	26.7%
	5	1003 その他の急性上気道感染症	41,717,390	5,423	26.4%
	6	0403 脂質異常症	224,623,136	5,093	24.8%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	68,158,981	5,001	24.4%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	57,962,850	4,843	23.6%
	9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	132,667,405	4,825	23.5%
	10	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	115,288,600	4,647	22.6%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	378,036,249	6,555	32.1%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	314,143,542	6,145	30.1%
	3	0402 糖尿病	329,067,499	5,821	28.5%
	4	0703 屈折及び調節の障害	24,831,584	5,432	26.6%
	5	1003 その他の急性上気道感染症	39,573,651	5,414	26.5%
	6	0403 脂質異常症	232,243,040	5,246	25.7%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	71,295,025	5,109	25.0%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	66,941,166	4,804	23.5%
	9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	142,668,822	4,777	23.4%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	140,156,780	4,729	23.1%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	337,308,477	6,465	32.8%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	285,411,821	5,940	30.1%
	3	0402 糖尿病	317,094,474	5,871	29.8%
	4	1003 その他の急性上気道感染症	35,852,633	5,245	26.6%
	5	0703 屈折及び調節の障害	20,677,302	5,223	26.5%
	6	0403 脂質異常症	209,608,969	5,109	25.9%
	7	1202 皮膚炎及び湿疹	82,265,012	5,014	25.4%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	111,480,949	4,773	24.2%
	9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	122,602,868	4,533	23.0%
	10	1105 胃炎及び十二指腸炎	60,547,686	4,442	22.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾患を見ると、平成28年度に新たに「悪性リンパ腫」が6位に上がっています。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	29,059,659	36	807,213
	2	1402 腎不全	284,960,836	464	614,140
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	52,137,728	111	469,709
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	67,497,724	158	427,201
	5	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	114,884,107	308	373,000
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	195,950,619	622	315,033
	7	0601 パーキンソン病	44,862,261	147	305,185
	8	1601 妊娠及び胎児発育に関する障害	7,296,723	29	251,611
	9	0501 血管性及び詳細不明の認知症	13,762,548	55	250,228
	10	0904 くも膜下出血	13,938,715	62	224,818
平成27年度	1	0209 白血病	27,988,987	33	848,151
	2	1402 腎不全	317,220,524	441	719,321
	3	1601 妊娠及び胎児発育に関する障害	16,962,141	25	678,486
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	66,172,095	124	533,646
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	75,156,408	170	442,097
	6	1602 その他の周産期に発生した病態	13,897,245	32	434,289
	7	0601 パーキンソン病	59,849,483	163	367,175
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	199,550,085	641	311,311
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	99,858,670	325	307,257
	10	0501 血管性及び詳細不明の認知症	13,637,909	59	231,151
平成28年度	1	0209 白血病	28,744,565	35	821,273
	2	1402 腎不全	319,932,122	557	574,384
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	82,381,465	158	521,402
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	49,815,886	104	478,999
	5	1602 その他の周産期に発生した病態	10,094,682	24	420,612
	6	0208 悪性リンパ腫	51,386,657	154	333,680
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	99,025,004	304	325,740
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,776,611	632	325,596
	9	0601 パーキンソン病	45,002,528	159	283,035
	10	0904 くも膜下出血	17,678,553	67	263,859

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医療レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,509,694,160	269,160	19,722

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	216,197,978	3.3%		22,494	8.4%		6,193	31.4%		34,910	
0101 腸管感染症	13,295,461	0.2%	83	4,089	1.5%	53	1,691	8.6%	37	7,862	108
0102 結核	4,005,217	0.1%	99	757	0.3%	98	248	1.3%	92	16,150	90
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	2,732,379	0.0%	105	914	0.3%	94	507	2.6%	76	5,389	115
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	18,417,951	0.3%	74	3,578	1.3%	58	1,135	5.8%	46	16,227	89
0105 ウイルス性肝炎	91,956,753	1.4%	21	3,623	1.3%	57	924	4.7%	56	99,520	26
0106 その他のウイルス性疾患	19,221,802	0.3%	71	769	0.3%	97	400	2.0%	84	48,055	44
0107 真菌症	39,087,333	0.6%	46	6,572	2.4%	41	2,055	10.4%	31	19,021	79
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	278,733	0.0%	118	169	0.1%	112	63	0.3%	108	4,424	117
0109 その他の感染症及び寄生虫症	27,202,349	0.4%	62	5,244	1.9%	44	1,696	8.6%	36	16,039	91
II. 新生物<腫瘍>	937,085,079	14.4%		24,502	9.1%		5,689	28.8%		164,719	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	71,995,060	1.1%	32	3,771	1.4%	54	1,201	6.1%	43	59,946	38
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	76,906,347	1.2%	28	3,347	1.2%	60	1,168	5.9%	45	65,844	35
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	49,815,886	0.8%	41	771	0.3%	96	104	0.5%	104	478,999	4
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	26,137,188	0.4%	63	1,369	0.5%	82	418	2.1%	81	62,529	37
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	148,230,559	2.3%	11	2,485	0.9%	69	716	3.6%	61	207,026	13
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	99,025,004	1.5%	19	1,931	0.7%	75	304	1.5%	89	325,740	7
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	8,391,307	0.1%	89	527	0.2%	102	209	1.1%	93	40,150	52
0208 悪性リンパ腫	51,386,657	0.8%	40	1,013	0.4%	91	154	0.8%	99	333,680	6
0209 白血病	28,744,565	0.4%	59	253	0.1%	107	35	0.2%	113	821,273	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	291,528,441	4.5%	4	10,304	3.8%	28	2,498	12.7%	26	116,705	20
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	84,924,065	1.3%	24	6,268	2.3%	42	2,367	12.0%	27	35,878	55
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	53,795,514	0.8%		6,869	2.6%		1,742	8.8%		30,881	
0301 貧血	22,682,546	0.3%	67	4,217	1.6%	52	1,028	5.2%	50	22,065	70
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	31,112,968	0.5%	55	2,990	1.1%	61	893	4.5%	57	34,841	56
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	622,307,822	9.6%		96,440	35.8%		9,325	47.3%		66,735	
0401 甲状腺障害	35,538,642	0.5%	50	7,854	2.9%	37	1,767	9.0%	34	20,112	78
0402 糖尿病	317,094,474	4.9%	3	43,649	16.2%	4	5,871	29.8%	3	54,010	40
0403 脂質異常症	209,608,969	3.2%	7	62,294	23.1%	2	5,109	25.9%	6	41,027	50
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	60,065,737	0.9%	38	18,615	6.9%	12	2,818	14.3%	22	21,315	74
V. 精神及び行動の障害	436,005,976	6.7%		28,419	10.6%		2,449	12.4%		178,034	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	11,062,170	0.2%	84	233	0.1%	108	53	0.3%	110	208,720	12
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	14,390,935	0.2%	82	688	0.3%	100	95	0.5%	106	151,484	14
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	205,776,611	3.2%	8	9,854	3.7%	33	632	3.2%	67	325,596	8

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,509,694,160	269,160	19,722

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	128,804,976	2.0%	13	14,417	5.4%	22	1,077	5.5%	48	119,596	19
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	31,848,152	0.5%	53	12,804	4.8%	24	1,285	6.5%	41	24,785	63
0506	知的障害<精神遅滞>	3,150,811	0.0%	103	59	0.0%	115	28	0.1%	115	112,529	21
0507	その他の精神及び行動の障害	40,972,321	0.6%	44	2,430	0.9%	70	334	1.7%	87	122,672	18
VI. 神経系の疾患		392,801,647	6.0%		43,195	16.0%		4,276	21.7%		91,862	
0601	パーキンソン病	45,002,528	0.7%	42	2,230	0.8%	74	159	0.8%	96	283,035	9
0602	アルツハイマー病	15,174,227	0.2%	80	1,223	0.5%	89	121	0.6%	101	125,407	17
0603	てんかん	75,971,076	1.2%	29	6,183	2.3%	43	550	2.8%	74	138,129	15
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	82,381,465	1.3%	25	1,013	0.4%	91	158	0.8%	97	521,402	3
0605	自律神経系の障害	2,429,422	0.0%	109	1,273	0.5%	87	136	0.7%	100	17,863	85
0606	その他の神経系の疾患	171,842,929	2.6%	9	36,540	13.6%	5	3,739	19.0%	13	45,960	46
VII. 眼及び付属器の疾患		238,628,941	3.7%		26,133	9.7%		6,910	35.0%		34,534	
0701	結膜炎	32,696,471	0.5%	52	12,208	4.5%	25	3,522	17.9%	16	9,283	105
0702	白内障	62,652,300	1.0%	36	10,336	3.8%	27	2,556	13.0%	24	24,512	64
0703	屈折及び調節の障害	20,677,302	0.3%	68	18,470	6.9%	13	5,223	26.5%	5	3,959	118
0704	その他の眼及び付属器の疾患	122,602,868	1.9%	15	18,691	6.9%	11	4,533	23.0%	9	27,047	59
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		23,269,992	0.4%		5,679	2.1%		1,969	10.0%		11,818	
0801	外耳炎	2,012,895	0.0%	111	1,342	0.5%	83	583	3.0%	71	3,453	120
0802	その他の外耳疾患	3,347,535	0.1%	101	1,585	0.6%	79	853	4.3%	58	3,924	119
0803	中耳炎	6,411,584	0.1%	93	1,792	0.7%	77	586	3.0%	69	10,941	100
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	2,554,691	0.0%	108	1,283	0.5%	86	414	2.1%	82	6,171	114
0805	メニエール病	3,021,476	0.0%	104	1,266	0.5%	88	281	1.4%	91	10,753	101
0806	その他の内耳疾患	1,136,081	0.0%	113	275	0.1%	106	101	0.5%	105	11,248	98
0807	その他の耳疾患	4,785,730	0.1%	98	1,323	0.5%	84	605	3.1%	68	7,910	107
IX. 循環器系の疾患		1,039,311,322	16.0%		99,641	37.0%		8,710	44.2%		119,324	
0901	高血圧性疾患	337,308,477	5.2%	1	84,161	31.3%	1	6,465	32.8%	1	52,175	43
0902	虚血性心疾患	157,704,446	2.4%	10	18,290	6.8%	14	2,195	11.1%	29	71,847	33
0903	その他の心疾患	238,456,816	3.7%	6	23,113	8.6%	7	3,571	18.1%	15	66,776	34
0904	くも膜下出血	17,678,553	0.3%	75	210	0.1%	110	67	0.3%	107	263,859	10
0905	脳内出血	55,806,912	0.9%	39	1,014	0.4%	90	420	2.1%	79	132,874	16
0906	脳梗塞	110,601,438	1.7%	18	9,902	3.7%	30	1,246	6.3%	42	88,765	29
0907	脳動脈硬化(症)	126,547	0.0%	120	32	0.0%	119	10	0.1%	119	12,655	97
0908	その他の脳血管疾患	28,440,831	0.4%	61	2,639	1.0%	64	659	3.3%	63	43,158	48
0909	動脈硬化(症)	18,841,964	0.3%	72	4,760	1.8%	49	1,049	5.3%	49	17,962	84
0911	低血圧(症)	1,054,042	0.0%	114	499	0.2%	103	49	0.2%	111	21,511	72
0912	その他の循環器系の疾患	73,291,296	1.1%	31	5,181	1.9%	45	1,003	5.1%	53	73,072	32
X. 呼吸器系の疾患		371,917,831	5.7%		51,523	19.1%		10,487	53.2%		35,465	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	3,739,170	0.1%	100	5,171	1.9%	46	1,742	8.8%	35	2,146	123
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	18,443,106	0.3%	73	9,865	3.7%	31	3,701	18.8%	14	4,983	116
1003	その他の急性上気道感染症	35,852,633	0.6%	48	14,980	5.6%	21	5,245	26.6%	4	6,836	111

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,509,694,160	269,160	19,722

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1004	肺炎	33,866,541	0.5%	51	2,545	0.9%	66	1,021	5.2%	52	33,170	58
1005	急性気管支炎及び 急性細気管支炎	24,272,754	0.4%	64	9,112	3.4%	34	3,361	17.0%	18	7,222	110
1006	アレルギー性鼻炎	43,056,854	0.7%	43	17,547	6.5%	16	4,109	20.8%	12	10,479	102
1007	慢性副鼻腔炎	15,754,259	0.2%	79	2,729	1.0%	62	651	3.3%	65	24,200	65
1008	急性又は慢性と明示されない 気管支炎	6,261,559	0.1%	94	2,722	1.0%	63	938	4.8%	55	6,675	112
1009	慢性閉塞性肺疾患	28,531,581	0.4%	60	4,631	1.7%	50	641	3.3%	66	44,511	47
1010	喘息	71,902,136	1.1%	33	12,066	4.5%	26	2,144	10.9%	30	33,536	57
1011	その他の呼吸器系の疾患	90,237,238	1.4%	22	9,855	3.7%	32	3,429	17.4%	17	26,316	61
X I . 消化器系の疾患		498,458,282	7.7%		77,015	28.6%		9,383	47.6%		53,124	
1101	う蝕 ※	232,544	0.0%	119	1	0.0%	124	1	0.0%	124	232,544	11
1102	歯肉炎及び歯周疾患	32,199	0.0%	122	5	0.0%	122	5	0.0%	121	6,440	113
1103	その他の歯及び歯の支持組織の 障害	74,951	0.0%	121	38	0.0%	118	23	0.1%	118	3,259	121
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	63,309,121	1.0%	35	22,596	8.4%	8	2,749	13.9%	23	23,030	68
1105	胃炎及び十二指腸炎	60,547,686	0.9%	37	26,804	10.0%	6	4,442	22.5%	10	13,631	94
1106	痔核	8,597,221	0.1%	88	1,866	0.7%	76	409	2.1%	83	21,020	75
1107	アルコール性肝疾患	2,721,447	0.0%	106	782	0.3%	95	115	0.6%	103	23,665	66
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	5,711,289	0.1%	96	2,235	0.8%	73	350	1.8%	85	16,318	88
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	6,115,889	0.1%	95	1,298	0.5%	85	324	1.6%	88	18,876	80
1110	その他の肝疾患	19,757,090	0.3%	69	7,394	2.7%	40	1,932	9.8%	33	10,226	103
1111	胆石症及び胆のう炎	35,837,814	0.6%	49	2,594	1.0%	65	659	3.3%	63	54,382	39
1112	膵疾患	10,109,210	0.2%	85	1,495	0.6%	80	496	2.5%	77	20,381	77
1113	その他の消化器系の疾患	285,411,821	4.4%	5	48,509	18.0%	3	5,940	30.1%	2	48,049	45
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		166,407,432	2.6%		29,396	10.9%		7,074	35.9%		23,524	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	8,352,817	0.1%	90	2,327	0.9%	71	992	5.0%	54	8,420	106
1202	皮膚炎及び湿疹	82,265,012	1.3%	26	19,667	7.3%	10	5,014	25.4%	7	16,407	87
1203	その他の皮膚及び 皮下組織の疾患	75,789,603	1.2%	30	16,194	6.0%	18	4,341	22.0%	11	17,459	86
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		616,966,895	9.5%		63,011	23.4%		8,276	42.0%		74,549	
1301	炎症性多発性関節障害	126,506,540	1.9%	14	10,149	3.8%	29	1,478	7.5%	39	85,593	31
1302	関節症	93,865,669	1.4%	20	15,185	5.6%	20	2,206	11.2%	28	42,550	49
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	133,791,743	2.1%	12	16,734	6.2%	17	2,521	12.8%	25	53,071	42
1304	椎間板障害	16,987,232	0.3%	76	3,696	1.4%	56	758	3.8%	59	22,411	69
1305	頸腕症候群	7,328,183	0.1%	92	3,719	1.4%	55	576	2.9%	72	12,723	95
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	40,382,813	0.6%	45	18,056	6.7%	15	2,950	15.0%	21	13,689	93
1307	その他の脊柱障害	23,445,435	0.4%	65	2,540	0.9%	67	584	3.0%	70	40,146	53
1308	肩の傷害<損傷>	16,431,403	0.3%	77	7,434	2.8%	39	1,199	6.1%	44	13,704	92
1309	骨の密度及び構造の障害	88,650,599	1.4%	23	13,278	4.9%	23	1,668	8.5%	38	53,148	41
1310	その他の筋骨格系及び 結合組織の疾患	69,577,278	1.1%	34	15,742	5.8%	19	3,154	16.0%	19	22,060	71

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,509,694,160	269,160	19,722

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	457,641,526	7.0%		22,879	8.5%		4,493	22.8%		101,857	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	28,858,991	0.4%	58	3,377	1.3%	59	713	3.6%	62	40,475	51
1402 腎不全	319,932,122	4.9%	2	4,593	1.7%	51	557	2.8%	73	574,384	2
1403 尿路結石症	9,878,001	0.2%	87	1,789	0.7%	78	530	2.7%	75	18,638	81
1404 その他の腎尿路系の疾患	36,699,683	0.6%	47	8,037	3.0%	36	1,991	10.1%	32	18,433	82
1405 前立腺肥大(症)	29,120,952	0.4%	57	4,965	1.8%	47	743	3.8%	60	39,194	54
1406 その他の男性生殖器系の疾患	2,255,379	0.0%	110	587	0.2%	101	178	0.9%	94	12,671	96
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	8,084,694	0.1%	91	2,278	0.8%	72	447	2.3%	78	18,087	83
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	22,811,704	0.4%	66	2,526	0.9%	68	1,088	5.5%	47	20,967	76
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	18,019,794	0.3%		512	0.2%		175	0.9%		102,970	
1501 流産	1,052,663	0.0%	115	73	0.0%	114	41	0.2%	112	25,675	62
1502 妊娠高血圧症候群	597,176	0.0%	116	14	0.0%	120	6	0.0%	120	99,529	25
1503 単胎自然分娩	5,700	0.0%	124	3	0.0%	123	3	0.0%	123	1,900	124
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	16,364,255	0.3%	78	443	0.2%	104	156	0.8%	98	104,899	24
XVI. 周産期に発生した病態	12,813,324	0.2%		96	0.0%		41	0.2%		312,520	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	2,718,642	0.0%	107	54	0.0%	116	25	0.1%	116	108,746	23
1602 その他の周産期に発生した病態	10,094,682	0.2%	86	48	0.0%	117	24	0.1%	117	420,612	5
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	24,152,088	0.4%		1,116	0.4%		339	1.7%		71,245	
1701 心臓の先天奇形	4,798,535	0.1%	97	210	0.1%	110	56	0.3%	109	85,688	30
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	19,353,553	0.3%	70	947	0.4%	93	294	1.5%	90	65,828	36
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	111,480,949	1.7%		21,479	8.0%		4,773	24.2%		23,357	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	111,480,949	1.7%	17	21,479	8.0%	9	4,773	24.2%	8	23,357	67
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	210,709,962	3.2%		12,980	4.8%		3,921	19.9%		53,739	
1901 骨折	112,751,225	1.7%	16	4,821	1.8%	48	1,023	5.2%	51	110,216	22
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	14,610,148	0.2%	81	307	0.1%	105	161	0.8%	95	90,746	28
1903 熱傷及び腐食	1,293,032	0.0%	112	227	0.1%	109	116	0.6%	102	11,147	99
1904 中毒	3,195,475	0.0%	102	748	0.3%	99	420	2.1%	79	7,608	109
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	78,860,082	1.2%	27	8,344	3.1%	35	2,961	15.0%	20	26,633	60
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	30,088,939	0.5%		7,819	2.9%		1,424	7.2%		21,130	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	295,544	0.0%	117	75	0.0%	113	29	0.1%	114	10,191	104
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	11,188	0.0%	123	7	0.0%	121	4	0.0%	122	2,797	122
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	6,509,694,160	269,160	19,722

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	29,782,207	0.5%	56	7,741	2.9%	38	1,397	7.1%	40	21,319	73
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		31,632,867	0.5%		1,374	0.5%		338	1.7%		93,588	
9999	分類外	31,632,867	0.5%	54	1,374	0.5%	81	338	1.7%	86	93,588	27

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(3) 高額レセプトの分析

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。高額レセプトは2,392件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占めます。高額レセプトの医療費は23億940万円となり、医療費全体の34.2%を占めます。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月
A	レセプト件数(件)	23,513	22,568	23,476	23,065	22,440	22,459	22,769
B	高額レセプト件数(件)	182	207	217	205	221	207	213
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	0.9%	0.9%
C	医療費(円) ※	562,696,200	547,127,320	613,828,720	562,970,680	587,921,090	563,204,950	564,719,380
D	高額レセプトの医療費(円) ※	177,915,080	178,078,040	226,753,170	190,258,690	215,493,940	194,335,640	201,581,440
E	その他レセプトの医療費(円) ※	384,781,120	369,049,280	387,075,550	372,711,990	372,427,150	368,869,310	363,137,940
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.6%	32.5%	36.9%	33.8%	36.7%	34.5%	35.7%

		平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	22,876	23,021	21,646	21,614	23,087	22,711	272,534
B	高額レセプト件数(件)	189	195	179	180	197	199	2,392
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%	0.9%	
C	医療費(円) ※	576,084,250	558,195,770	513,254,020	527,023,190	585,224,530	563,520,842	6,762,250,100
D	高額レセプトの医療費(円) ※	197,467,760	187,458,910	161,933,800	174,544,750	203,579,770	192,450,083	2,309,400,990
E	その他レセプトの医療費(円) ※	378,616,490	370,736,860	351,320,220	352,478,440	381,644,760	371,070,759	4,452,849,110
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.3%	33.6%	31.6%	33.1%	34.8%	34.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示します。平成28年度高額レセプト件数2,392件は平成26年度2,394件より2件減少しており、平成28年度高額レセプトの医療費23億940万円は平成26年度23億689万円より251万円増加しています。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	278,618	284,707	272,534
B	高額レセプト件数(件)	2,394	2,694	2,392
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.9%	0.9%
C	医療費(円) ※	6,865,595,680	7,468,760,000	6,762,250,100
D	高額レセプトの医療費(円) ※	2,306,894,690	2,705,263,280	2,309,400,990
E	その他レセプトの医療費(円) ※	4,558,700,990	4,763,496,720	4,452,849,110
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.6%	36.2%	34.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

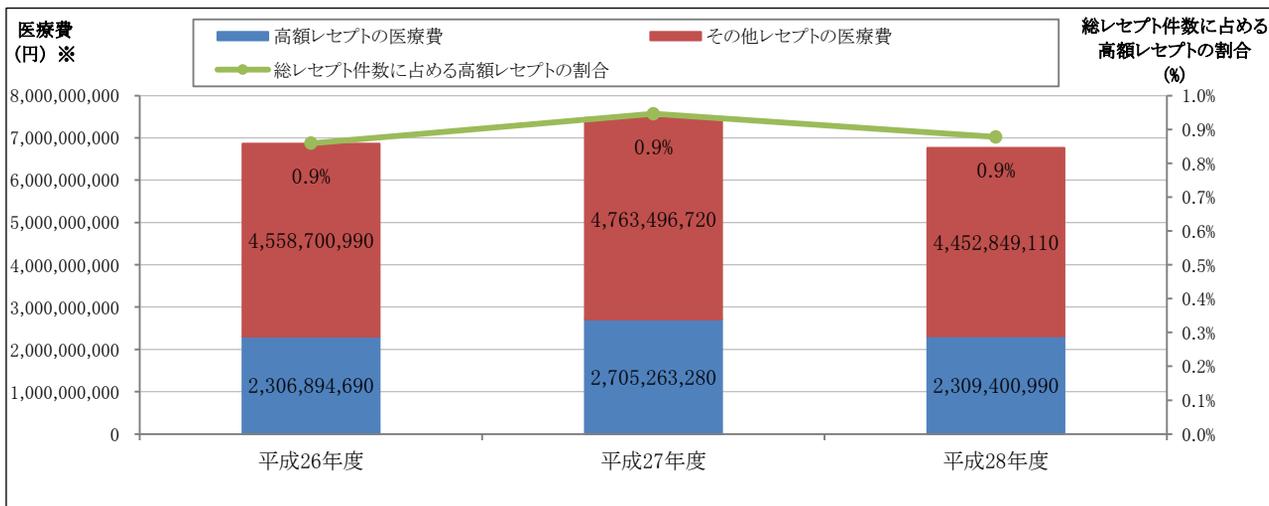
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示します。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「虚血性心疾患」です。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 卵巣癌	85	158,924,620	83,993,460	242,918,080	2,857,860
2	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 上腕骨近位端骨折	53	78,746,870	15,286,970	94,033,840	1,774,223
3	0902	虚血性心疾患	狭心症, 無症候性心筋虚血, 労作性狭心症	49	79,485,100	19,691,710	99,176,810	2,024,017
4	0903	その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 発作性心房細動	46	117,140,580	18,511,320	135,651,900	2,948,954
4	1113	その他の消化器系の疾患	便秘症, 難治性逆流性食道炎, 絞扼性イレウス	46	65,269,700	15,133,700	80,403,400	1,747,900
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺癌, 肺腺癌	40	69,106,880	95,936,960	165,043,840	4,126,096
7	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	33	102,568,350	105,118,030	207,686,380	6,293,527
8	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 広範脊柱管狭窄症	30	97,648,820	11,849,630	109,498,450	3,649,948
9	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	28	28,055,590	62,768,590	90,824,180	3,243,721
9	0906	脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, アテローム血栓性脳梗塞・急性期	28	80,643,770	6,739,650	87,383,420	3,120,836
9	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 総胆管結石性胆管炎, 胆石性胆のう炎	28	25,697,170	7,568,120	33,265,290	1,188,046
12	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 壁内子宮平滑筋腫, 骨髄異形成症候群	27	35,242,480	15,103,750	50,346,230	1,864,675
12	1302	関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 両側性原発性膝関節症	27	49,047,290	9,007,200	58,054,490	2,150,166
14	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 幽門前庭部癌	26	41,492,080	19,442,560	60,934,640	2,343,640
15	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎硬変	22	3,961,280	70,719,940	74,681,220	3,394,601
16	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 下行結腸癌, 横行結腸癌	20	31,634,920	23,199,400	54,834,320	2,741,716
16	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 片麻痺, 痙性四肢麻痺	20	114,797,580	1,451,830	116,249,410	5,812,471
16	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 急性大動脈解離StanfordA, 胸部大動脈瘤	20	66,531,300	6,779,820	73,311,120	3,665,556
19	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 妄想性障害, 妄想型統合失調症	19	41,403,650	6,010,500	47,414,150	2,495,482
19	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 外反母趾, 人工膝関節周囲骨折	19	35,295,490	7,514,630	42,810,120	2,253,164

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示します。

年度別高額レセプト発生患者の疾病傾向を見ると、「骨折」の順位が平成26年度より上昇しています。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 転移性脳腫瘍	94	2,770,137
	2	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	76	2,146,971
	3	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 膝蓋骨骨折	73	1,759,010
	4	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 肩腱板損傷, 前十字靭帯損傷	44	2,120,005
	5	0903 その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 非弁膜症性心房細動	41	3,062,170
	5	0906 脳梗塞	脳梗塞, ラクナ梗塞, 多発性脳梗塞	41	2,622,390
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 転移性脳腫瘍, 卵巣癌	114	3,498,417
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 踵骨骨折	61	2,040,593
	3	0902 虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 陳旧性心筋梗塞	60	2,661,487
	4	1113 その他の消化器系の疾患	便秘症, 単径ヘルニア, 閉塞性黄疸	47	2,353,891
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺腺癌, 肺癌, 上葉肺癌	40	3,314,699
	5	0906 脳梗塞	脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞, ラクナ梗塞	40	2,869,136
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 卵巣癌	85	2,857,860
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 上腕骨近位端骨折	53	1,774,223
	3	0902 虚血性心疾患	狭心症, 無症候性心筋虚血, 労作性狭心症	49	2,024,017
	4	0903 その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 発作性心房細動	46	2,948,954
	4	1113 その他の消化器系の疾患	便秘症, 難治性逆流性食道炎, 絞扼性イレウス	46	1,747,900

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

4. 介護認定の状況

(1) 介護認定率の状況

亀岡市の介護認定者数は、平成29年9月末現在4,015人で、認定率は第1号被保険者25,027人に対し、約16.0%となっています。

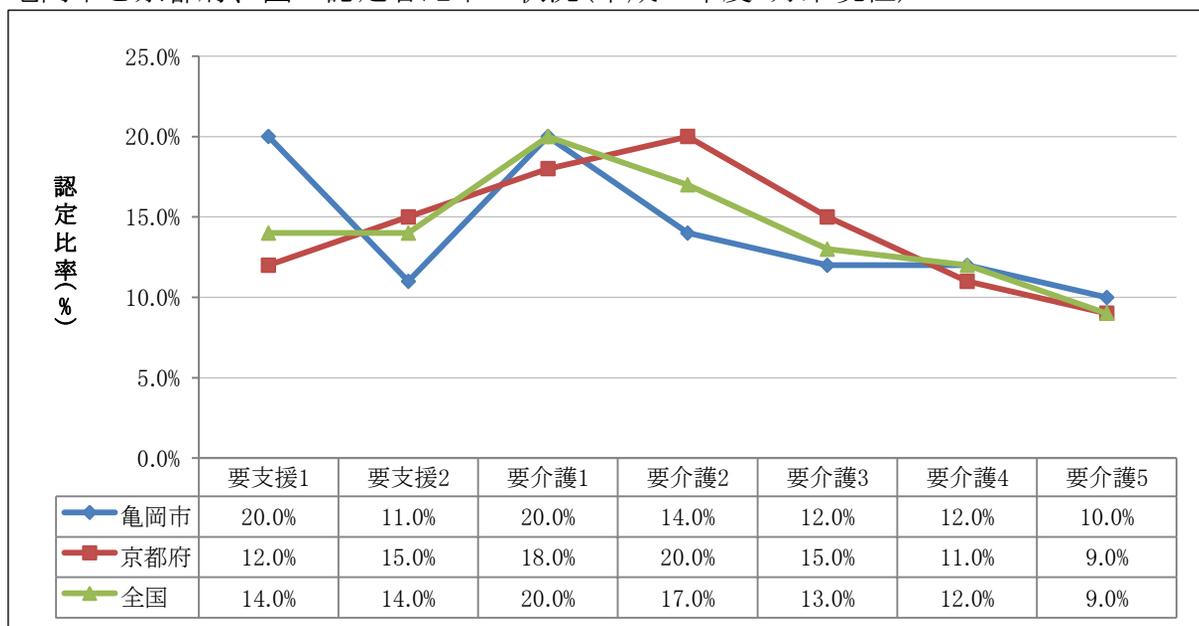
このうち要支援1、2の認定を受けている方は認定者全体の約31.0%となる1,259人、要介護者は認定者全体の約69.0%、2,756人となっています。

	要支援		要介護					合計	認定率
	1	2	1	2	3	4	5		
平成29年9月	798人	461人	806人	571人	489人	495人	395人	4,015人	16.0%
計	1,259人		2,756人						
第1号被保険者数								25,027人	

認定状況は、国、京都府と比較すると、要支援1の認定率が20.0%と高く、国の認定率と比較して6.0%、京都府との比較では8.0%高くなっています。要支援2の認定率は11.0%で国の認定率と比較して3.0%、京都府の認定率と比較して4.0%低くなっています。

要介護2の認定率14.0%は国、京都府のいずれの認定率よりも低くなっています。

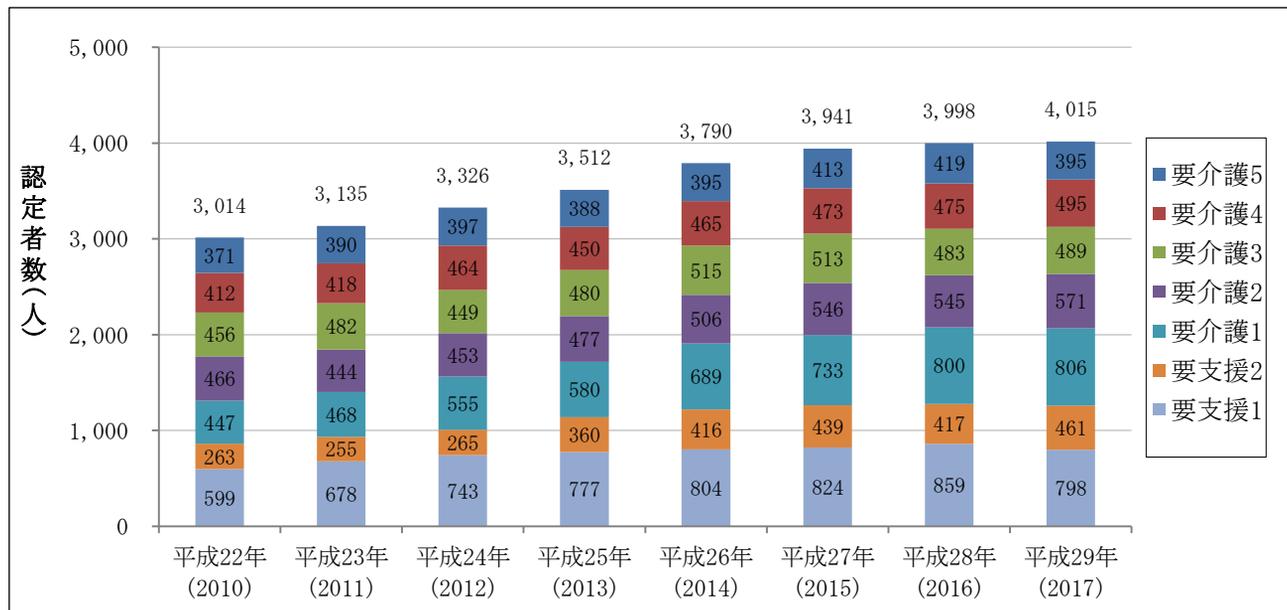
亀岡市と京都府、国の認定者比率の状況(平成29年度9月末現在)



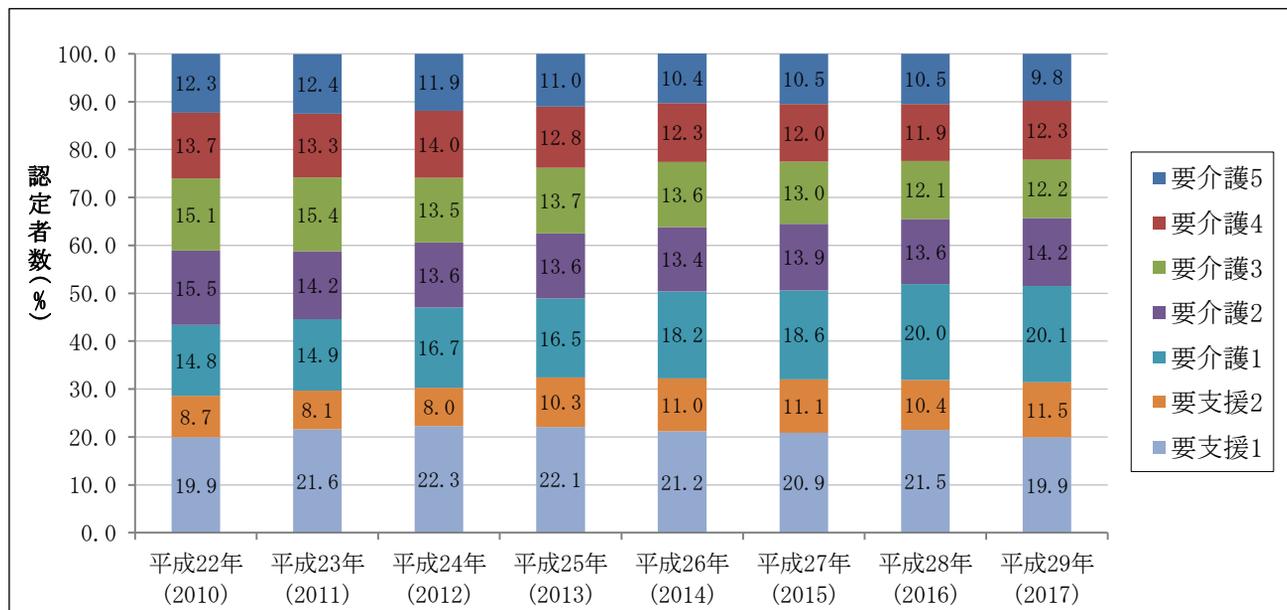
出典:「亀岡市いきいき長寿プラン」

介護保険の要支援・要介護認定者数は増加傾向で推移しており、平成29年9月末時点で4,015人となっています。要支援・要介護度の構成比をみると、要介護1の割合が上昇している一方で、要介護3以上の割合は低下傾向にあります。

認定者数の推移(各年9月末現在)



認定者数の割合(各年9月末現在)



出典:「亀岡市いきいき長寿プラン」

(2) 介護認定者の有病状況

平成28年度における認定者の疾病別有病率で最も高い疾患は心臓病で、ついで筋・骨格系、高血圧症です。

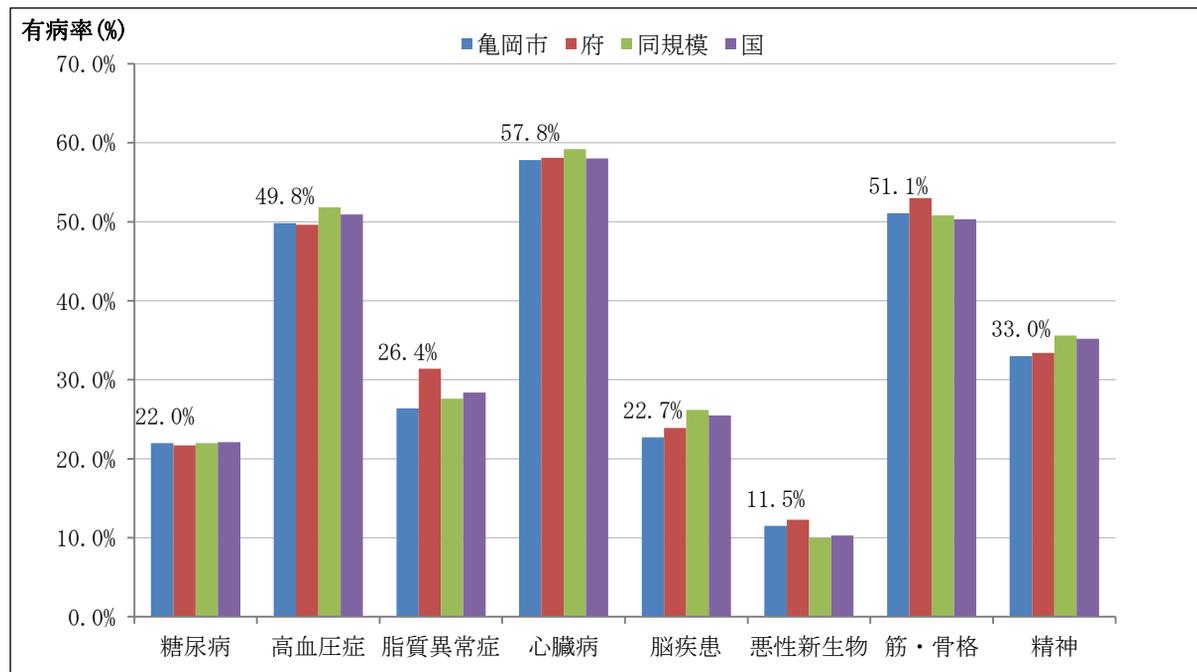
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示します。

区分		亀岡市	順位	府	順位	同規模	順位	国	順位
糖尿病	実人数(人)	890	7	32,633	7	203,882	7	1,350,152	7
	有病率	22.0%		21.7%		22.0%		22.1%	
高血圧症	実人数(人)	2,037	3	74,270	3	479,210	2	3,101,200	2
	有病率	49.8%		49.6%		51.8%		50.9%	
脂質異常症	実人数(人)	1,076	5	47,044	5	256,268	5	1,741,866	5
	有病率	26.4%		31.4%		27.6%		28.4%	
心臓病	実人数(人)	2,340	1	86,686	1	546,239	1	3,529,682	1
	有病率	57.8%		58.1%		59.2%		58.0%	
脳疾患	実人数(人)	903	6	35,454	6	239,587	6	1,538,683	6
	有病率	22.7%		23.9%		26.2%		25.5%	
悪性新生物	実人数(人)	472	8	18,541	8	93,015	8	631,950	8
	有病率	11.5%		12.3%		10.0%		10.3%	
筋・骨格	実人数(人)	2,099	2	79,112	2	469,492	3	3,067,196	3
	有病率	51.1%		53.0%		50.8%		50.3%	
精神	実人数(人)	1,349	4	50,116	4	331,335	4	2,154,214	4
	有病率	33.0%		33.4%		35.6%		35.2%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)

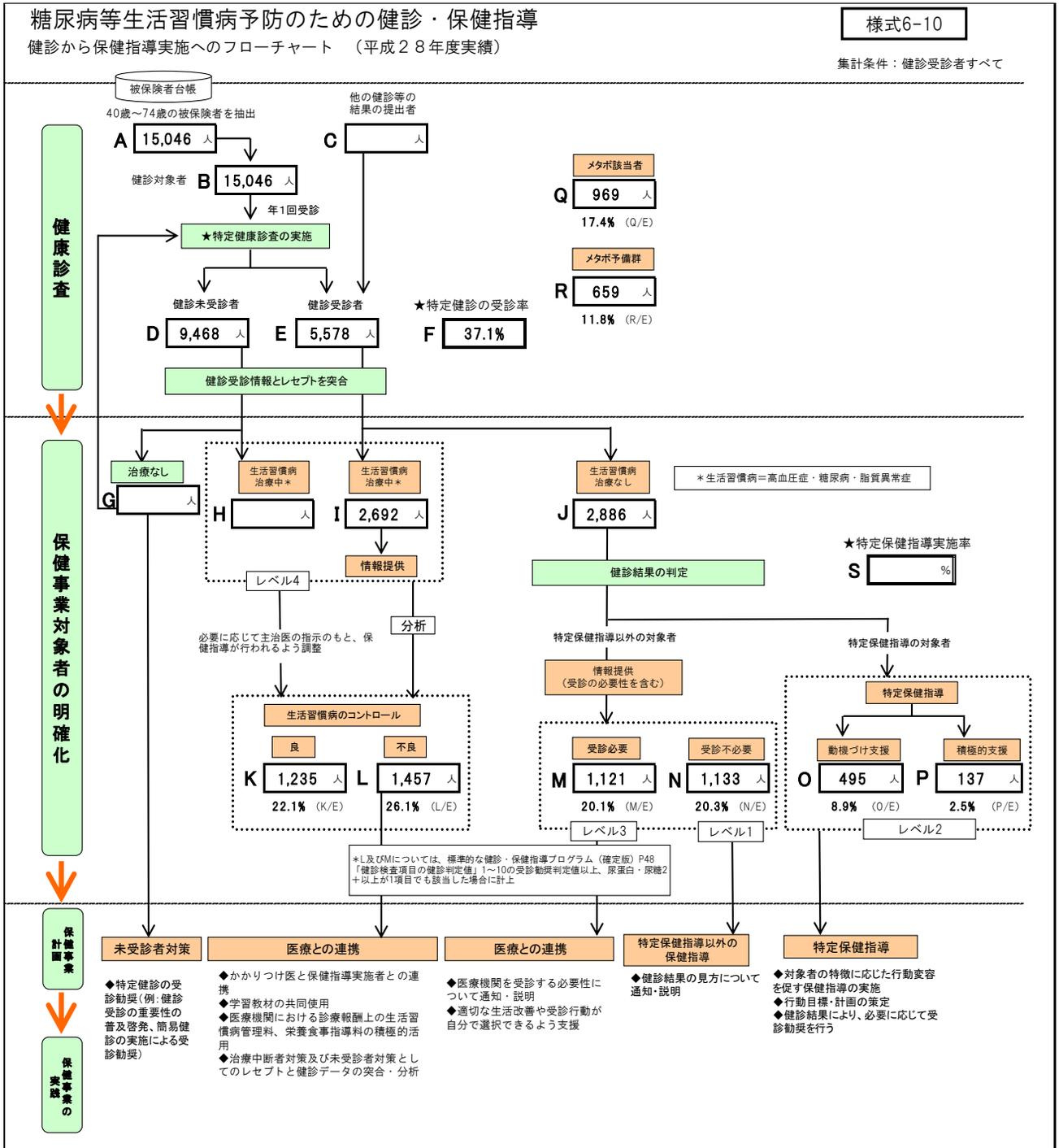


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

第4章 保健事業に係る分析

1. 特定健診に係る保健事業対象者の状況

平成28年度の特定健康診査(以下特定健診)の結果から、保健事業対象者を明確にします。健診受診者の約半数が生活習慣病治療中で、そのうち約半数が受診勧奨値を超えています。また、生活習慣病未治療者のうち、約40%が受診勧奨値を超えており、約20%が特定保健指導対象者となっています。



2. 特定健診の実施状況

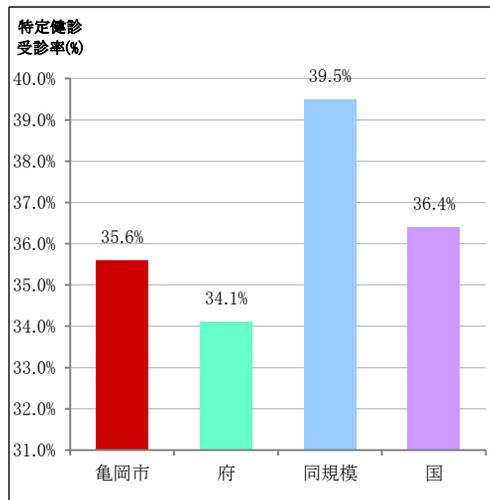
(1) 受診状況

平成28年度における特定健診の受診率は35.6%で、府の34.1%より高く、国の36.4%より低い状況です。年齢別受診率では、男性は64歳以下、女性は54歳以下の受診率が30%以下と低く、全年齢においても女性より男性の受診率が低いのが目立ちます。

特定健診受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
亀岡市	35.6%
府	34.1%
同規模	39.5%
国	36.4%

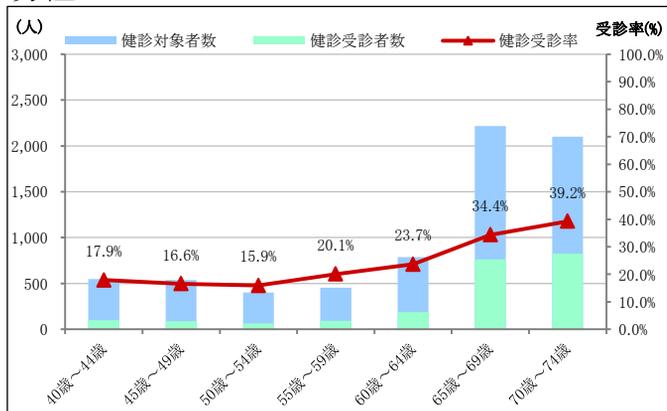
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



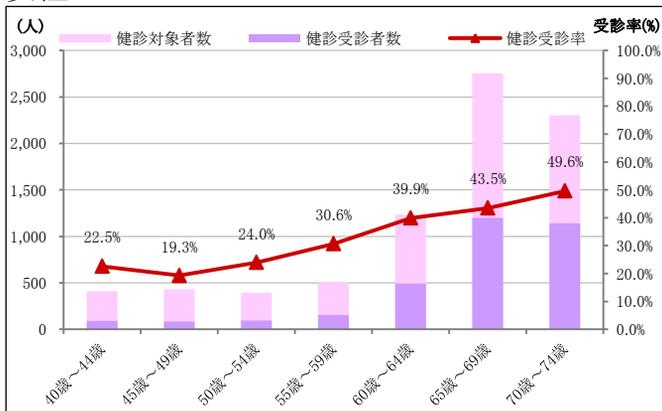
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女年齢別特定健診受診率(平成28年度(累計))

男性



女性



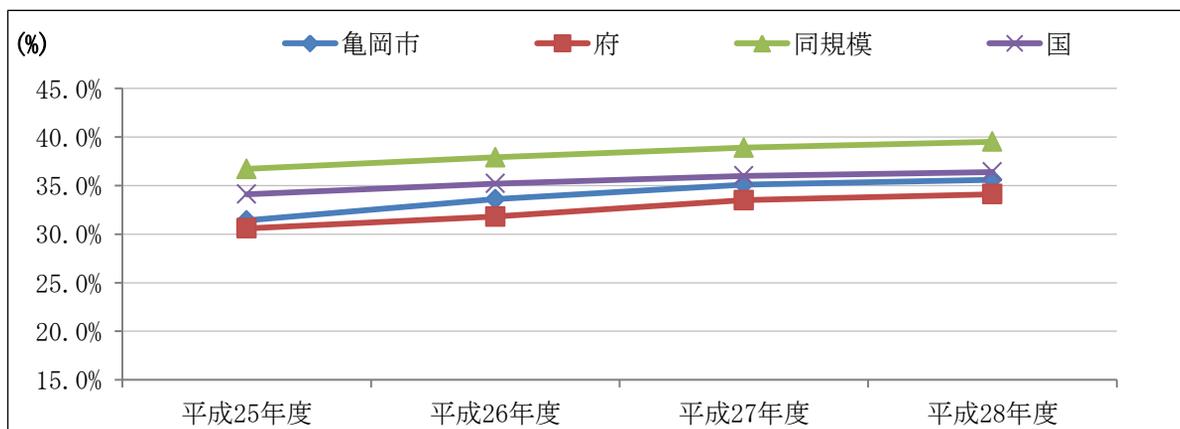
出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

本市の平成25年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健診受診率を年度別に示します。平成28年度の特定健診受診率35.6%は平成25年度の31.4%より4.2ポイント上昇しています。

特定健診受診率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
亀岡市	31.4%	33.6%	35.1%	35.6%
府	30.6%	31.8%	33.5%	34.1%
同規模	36.7%	37.9%	38.9%	39.5%
国	34.1%	35.2%	36.0%	36.4%

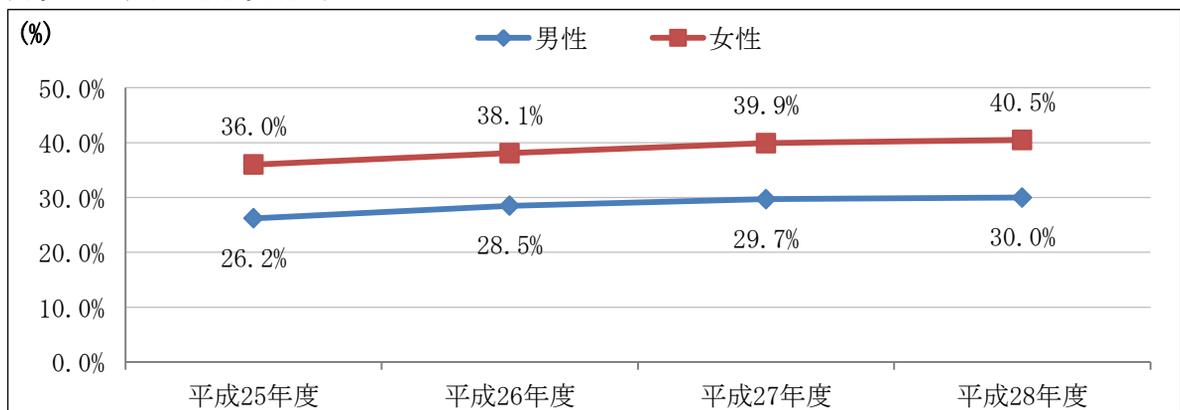
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健診の受診率をみると、男性の平成28年度の受診率30.0%は平成25年度の26.2%より3.8ポイント上昇しており、女性の平成28年度の受診率40.5%は平成25年度の36.0%より4.5ポイント上昇しています。

男女別 特定健診受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

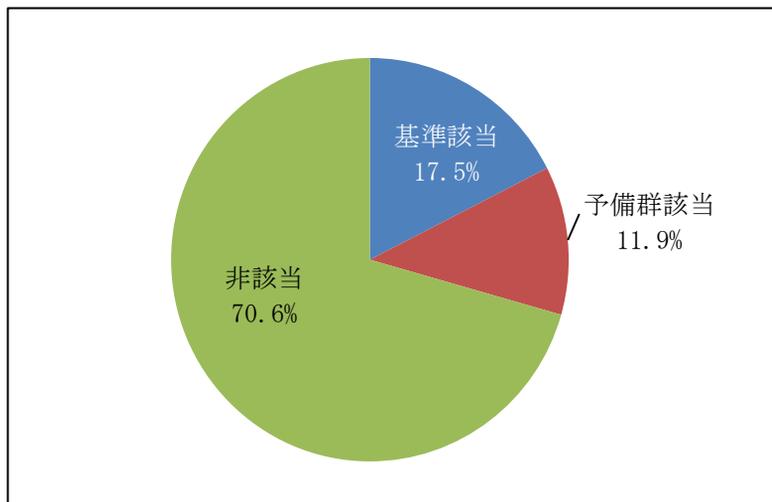
(2) メタボリックシンドロームの状況

特定健診受診者のメタボリックシンドローム該当状況は、基準該当が937人で17.5%、予備群該当が637人で11.9%です。

メタボリックシンドローム該当状況

	特定健診 受診者(人)	該当レベル		
		基準該当	予備群該当	非該当
該当者数(人)	5,358	937	637	3,784
割合※(%)	-	17.5%	11.9%	70.6%

メタボリックシンドローム該当割合



出典：特定健診・特定保健指導法定報告結果

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

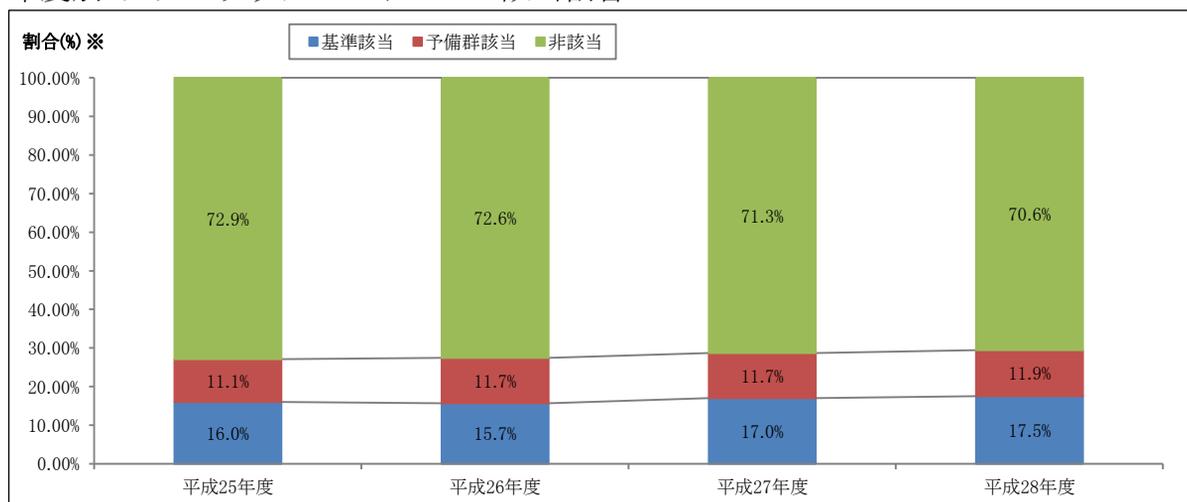
※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

平成25年度から平成28年度における、特定健診受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示します。平成28年度の基準該当17.5%は平成25年度の16.0%より上昇しており、予備群該当についても、平成28年度の11.9%は平成25年度の11.1%より上昇しています。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数	基準該当		予備群該当		非該当	
	人数(人)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
平成25年度	4,898	783	16.0%	544	11.1%	3,571	72.9%
平成26年度	5,270	828	15.7%	620	11.7%	3,822	72.6%
平成27年度	5,465	927	17.0%	640	11.7%	3,898	71.3%
平成28年度	5,358	937	17.5%	637	11.9%	3,784	70.6%

年度別 メタボリックシンドローム該当割合



出典：特定健診・特定保健指導法定報告結果

(3) 特定健診結果有所見者の状況

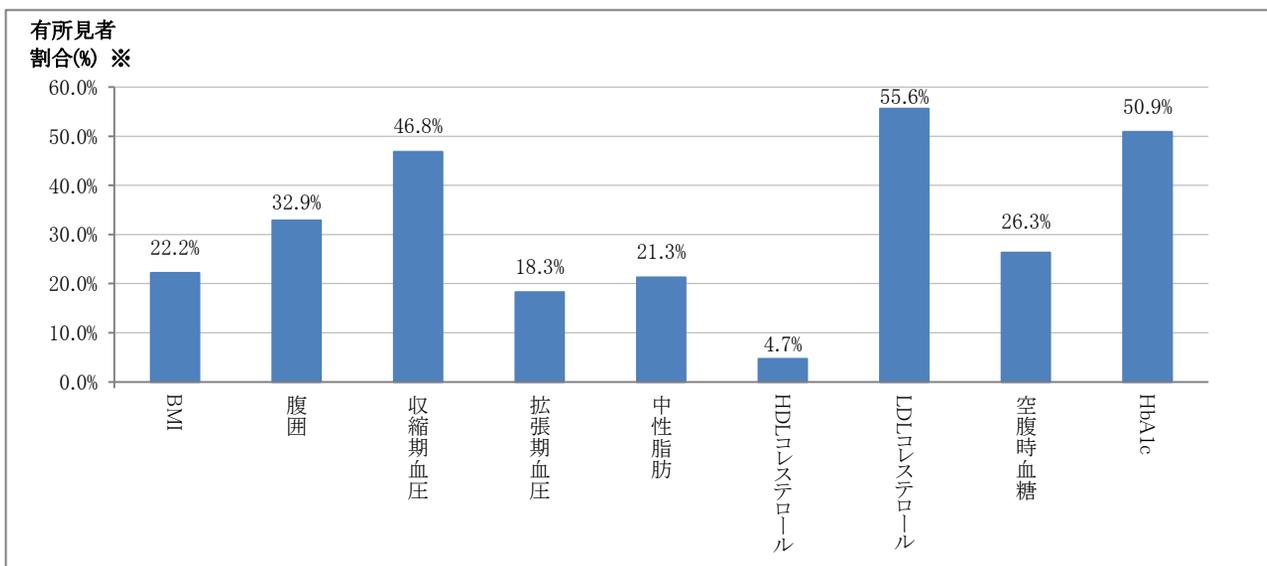
平成28年度の特定健診受診者の有所見者割合は、LDLコレステロールが55.6%と最も高く、ついでHbA1cが50.9%、収縮期血圧が46.8%と高く、約半数の人が保健指導判定値を超えています。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	5,363	5,362	5,363	5,363
有所見者数(人) ※	1,191	1,763	2,510	981
有所見者割合(%) ※	22.2%	32.9%	46.8%	18.3%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	5,364	5,364	5,361	3,953	5,354
有所見者数(人) ※	1,141	253	2,982	1,041	2,723
有所見者割合(%) ※	21.3%	4.7%	55.6%	26.3%	50.9%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

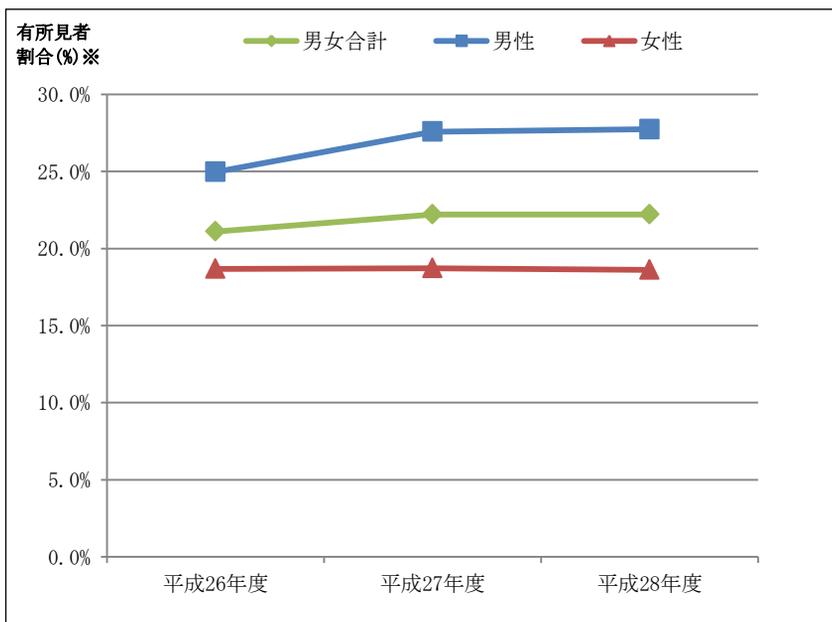
平成26年度から平成28年度の特定健診受診者における有所見者割合を検査項目ごとに年度別に示します。

①BMI

男性の方が有所見割合が高い傾向にあり、平成26年度から平成27年度にかけて増加しています。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,156	5,451	5,363
	有所見者数(人) ※	1,088	1,211	1,191
	有所見者割合(%) ※	21.1%	22.2%	22.2%
男性	対象者数(人) ※	1,982	2,150	2,113
	有所見者数(人) ※	495	593	586
	有所見者割合(%) ※	25.0%	27.6%	27.7%
女性	対象者数(人) ※	3,174	3,301	3,250
	有所見者数(人) ※	593	618	605
	有所見者割合(%) ※	18.7%	18.7%	18.6%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

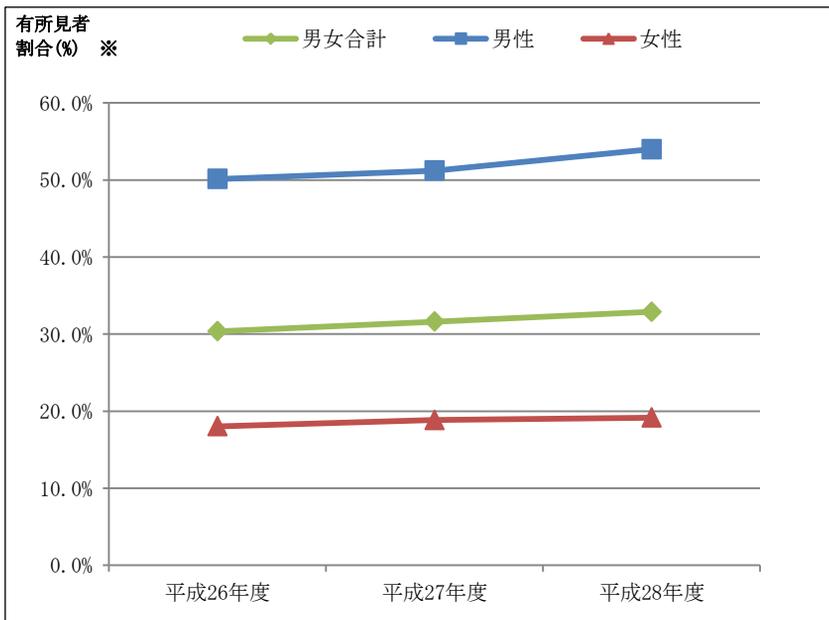
BMI:25以上

②腹囲

男性の方が高く半数を超えています。また、男性女性とも年々増加しています。

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,154	5,451	5,362
	有所見者数(人) ※	1,565	1,723	1,763
	有所見者割合(%) ※	30.4%	31.6%	32.9%
男性	対象者数(人) ※	1,981	2,150	2,112
	有所見者数(人) ※	993	1,101	1,140
	有所見者割合(%) ※	50.1%	51.2%	54.0%
女性	対象者数(人) ※	3,173	3,301	3,250
	有所見者数(人) ※	572	622	623
	有所見者割合(%) ※	18.0%	18.8%	19.2%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

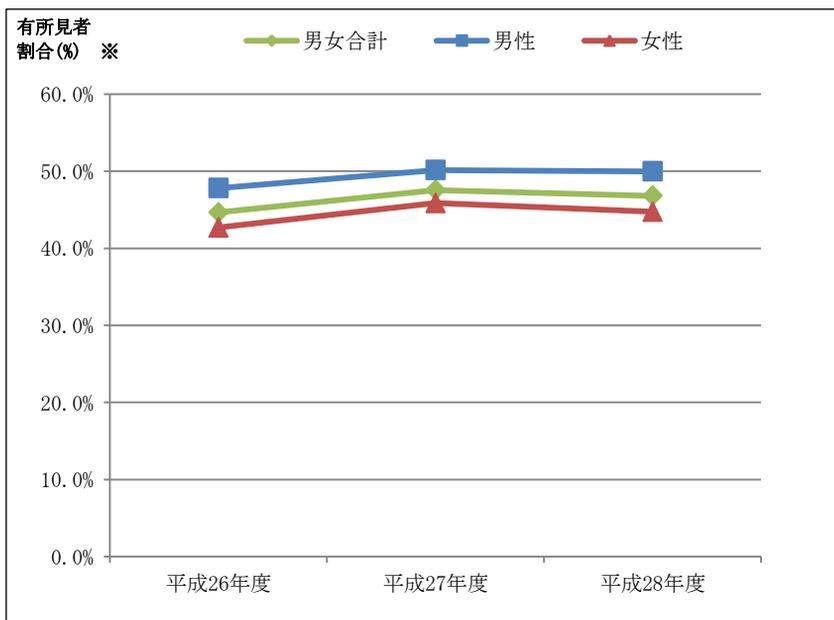
腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

③収縮期血圧

男性と女性の割合に大きな差はありませんが、受診者の約半数が有所見と判定されています。

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,157	5,451	5,363
	有所見者数(人) ※	2,303	2,592	2,510
	有所見者割合(%) ※	44.7%	47.6%	46.8%
男性	対象者数(人) ※	1,983	2,150	2,113
	有所見者数(人) ※	948	1,078	1,056
	有所見者割合(%) ※	47.8%	50.1%	50.0%
女性	対象者数(人) ※	3,174	3,301	3,250
	有所見者数(人) ※	1,355	1,514	1,454
	有所見者割合(%) ※	42.7%	45.9%	44.7%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

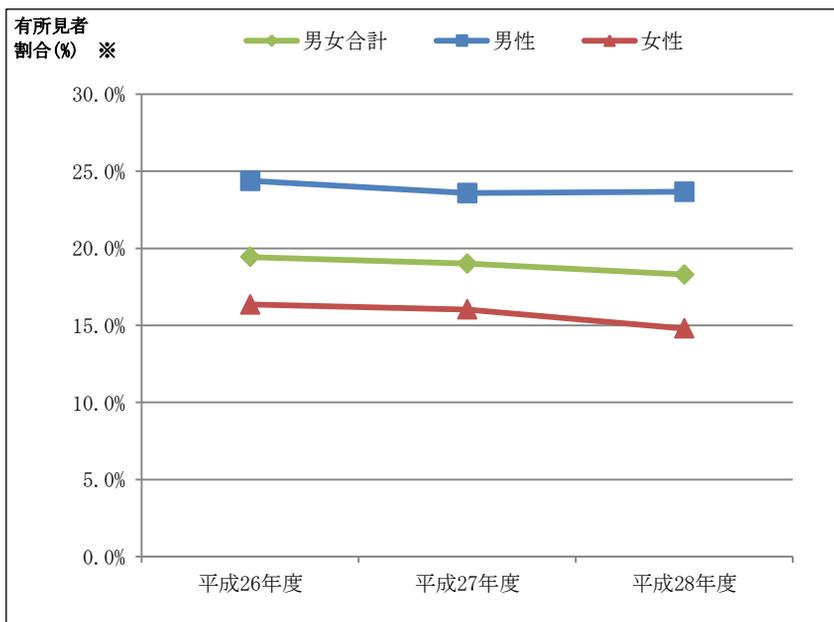
収縮期血圧: 130mmHg以上

④拡張期血圧

男性は横ばい傾向ですが、女性は減少しています。有所見者割合は、収縮期血圧に比べて約20%と低い状況です。

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,156	5,451	5,363
	有所見者数(人) ※	1,002	1,036	981
	有所見者割合(%) ※	19.4%	19.0%	18.3%
男性	対象者数(人) ※	1,982	2,150	2,113
	有所見者数(人) ※	483	507	500
	有所見者割合(%) ※	24.4%	23.6%	23.7%
女性	対象者数(人) ※	3,174	3,301	3,250
	有所見者数(人) ※	519	529	481
	有所見者割合(%) ※	16.4%	16.0%	14.8%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

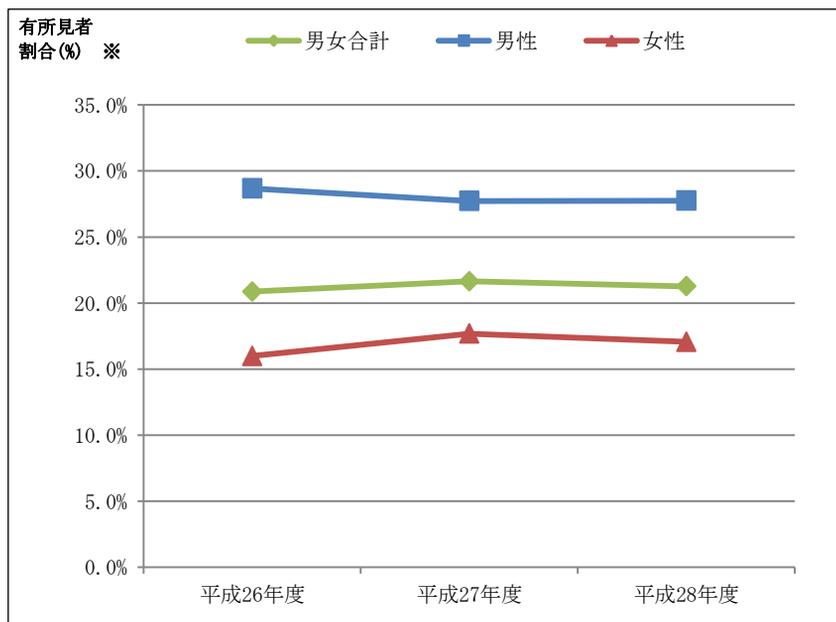
拡張期血圧:85mmHg以上

⑤中性脂肪

男性の方が割合が高く、男性は減少傾向ですが、女性は横ばい傾向です。

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,152	5,451	5,364
	有所見者数(人) ※	1,075	1,180	1,141
	有所見者割合(%) ※	20.9%	21.6%	21.3%
男性	対象者数(人) ※	1,981	2,150	2,112
	有所見者数(人) ※	568	596	586
	有所見者割合(%) ※	28.7%	27.7%	27.7%
女性	対象者数(人) ※	3,171	3,301	3,252
	有所見者数(人) ※	507	584	555
	有所見者割合(%) ※	16.0%	17.7%	17.1%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

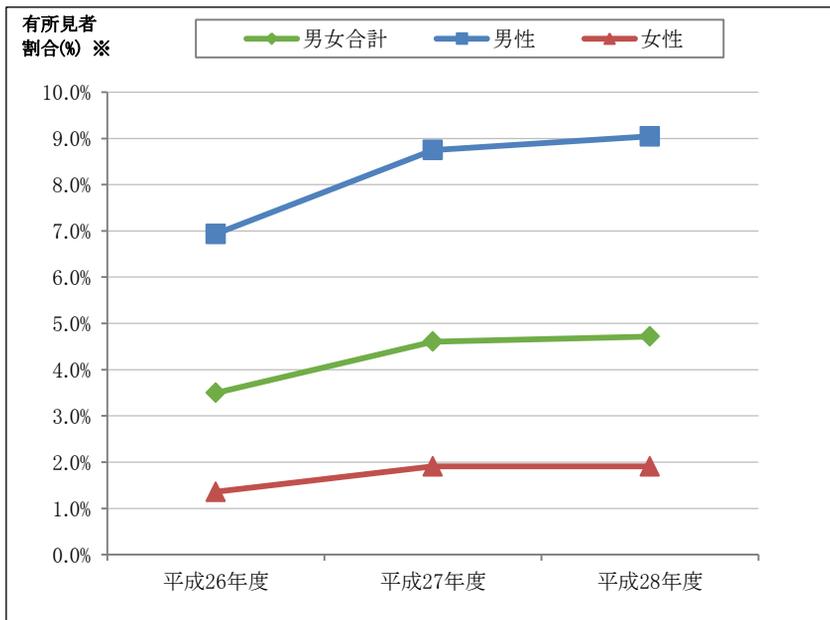
中性脂肪:150mg/dl以上

⑥HDLコレステロール

有所見者の割合は他の項目と比べ少ないですが、男性は年々増加しています。女性は横ばい傾向です。

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,147	5,450	5,364
	有所見者数(人) ※	180	251	253
	有所見者割合(%) ※	3.5%	4.6%	4.7%
男性	対象者数(人) ※	1,976	2,149	2,112
	有所見者数(人) ※	137	188	191
	有所見者割合(%) ※	6.9%	8.7%	9.0%
女性	対象者数(人) ※	3,171	3,301	3,252
	有所見者数(人) ※	43	63	62
	有所見者割合(%) ※	1.4%	1.9%	1.9%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

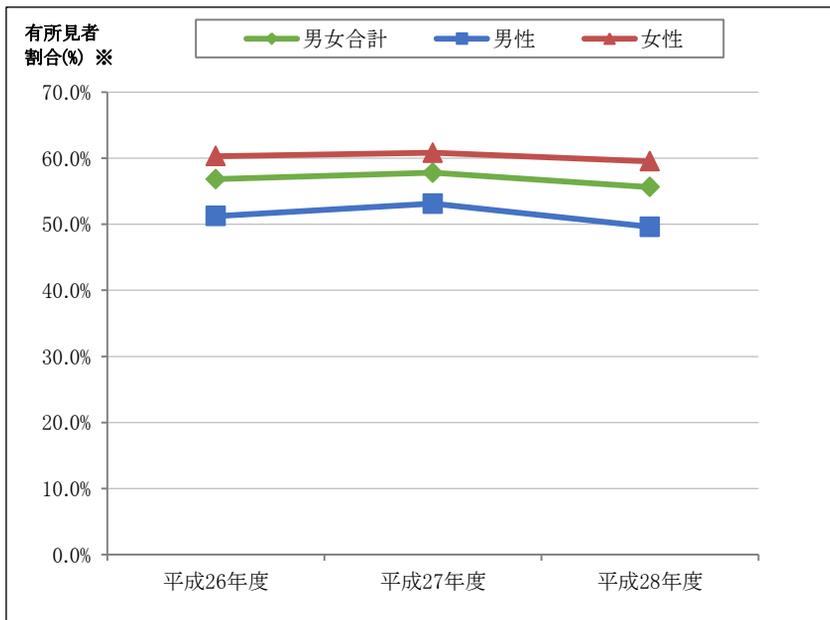
HDLコレステロール:39mg/dl以下

⑦LDLコレステロール

男女とも有所見者割合が非常に高く、女性は約60%以上となっています。男性は、約50%ですが、平成28年度には減少しています。

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,149	5,451	5,361
	有所見者数(人) ※	2,926	3,150	2,982
	有所見者割合(%) ※	56.8%	57.8%	55.6%
男性	対象者数(人) ※	1,977	2,150	2,112
	有所見者数(人) ※	1,013	1,142	1,048
	有所見者割合(%) ※	51.2%	53.1%	49.6%
女性	対象者数(人) ※	3,172	3,301	3,249
	有所見者数(人) ※	1,913	2,008	1,934
	有所見者割合(%) ※	60.3%	60.8%	59.5%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

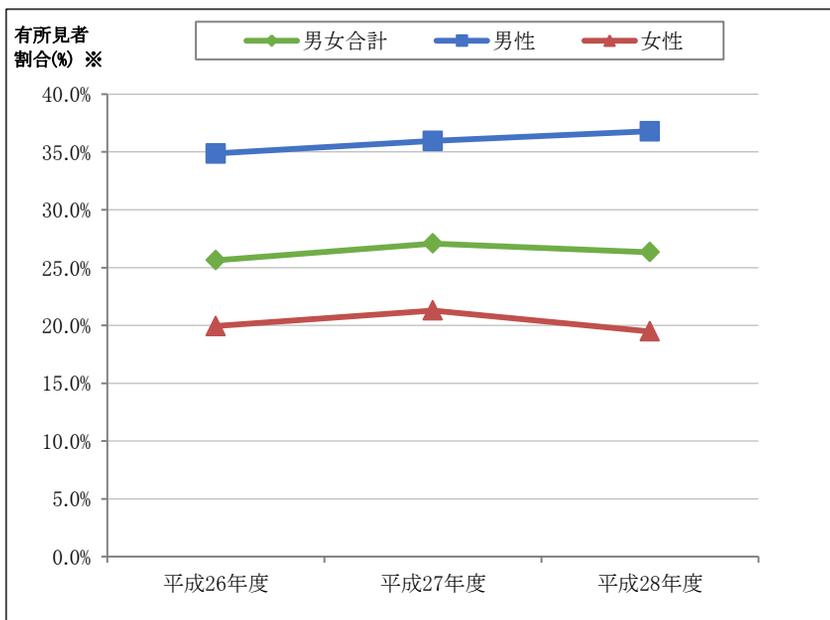
LDLコレステロール:120mg/dl以上

⑧空腹時血糖

男性の方が割合が高く増加傾向にあります。女性は、平成28年度にはやや減少しています。

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,835	3,988	3,953
	有所見者数(人) ※	983	1,080	1,041
	有所見者割合(%) ※	25.6%	27.1%	26.3%
男性	対象者数(人) ※	1,463	1,574	1,566
	有所見者数(人) ※	510	566	576
	有所見者割合(%) ※	34.9%	36.0%	36.8%
女性	対象者数(人) ※	2,372	2,414	2,387
	有所見者数(人) ※	473	514	465
	有所見者割合(%) ※	19.9%	21.3%	19.5%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。保健指導判定値により有所見を判定する。

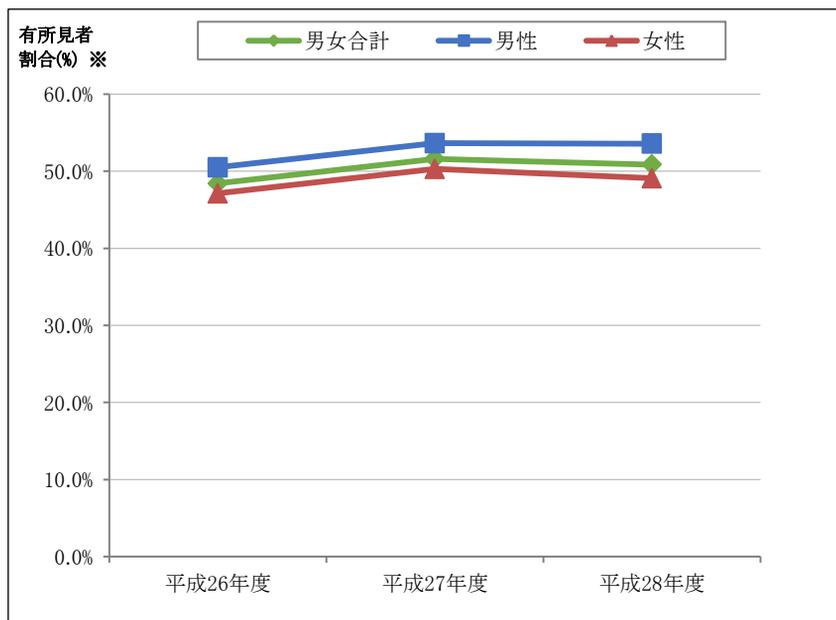
空腹時血糖値:100mg/dl以上

⑨HbA1c (NGSP)

男女とも、大きな差はありませんが、約半数の人が有所見と判定されています。平成27年度から平成28年度にかけては横ばい傾向です。

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	5,151	5,445	5,354
	有所見者数(人) ※	2,494	2,810	2,723
	有所見者割合(%) ※	48.4%	51.6%	50.9%
男性	対象者数(人) ※	1,980	2,148	2,111
	有所見者数(人) ※	1,000	1,152	1,131
	有所見者割合(%) ※	50.5%	53.6%	53.6%
女性	対象者数(人) ※	3,171	3,297	3,243
	有所見者数(人) ※	1,494	1,658	1,592
	有所見者割合(%) ※	47.1%	50.3%	49.1%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

(4) 質問別回答状況

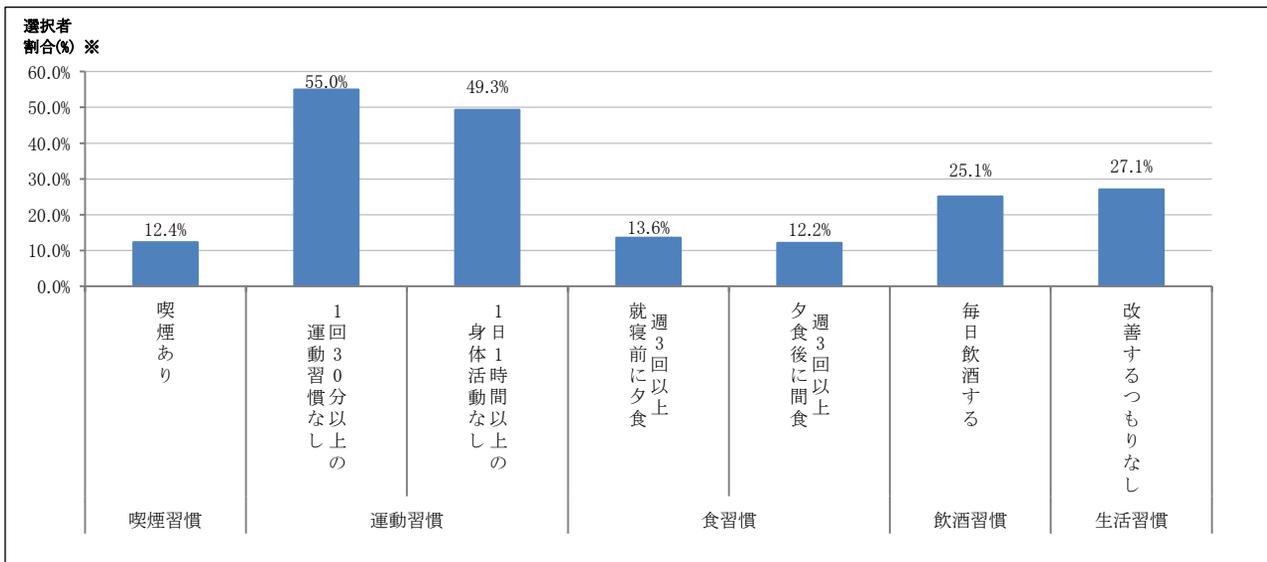
平成28年度の特定健診の質問票への回答状況を示しています。運動習慣に関する質問では、約半数の人が運動習慣がない状況です。

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	5,365	5,322	5,314
選択者数(人) ※	663	2,925	2,619
選択者割合(%) ※	12.4%	55.0%	49.3%

	食習慣	飲酒習慣	生活習慣	
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	
質問回答者数(人) ※	5,332	5,329	5,274	5,211
選択者数(人) ※	727	648	1,324	1,410
選択者割合(%) ※	13.6%	12.2%	25.1%	27.1%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

資格確認日…平成29年3月31日時点

※質問回答者数…質問に回答した人数

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒します

…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

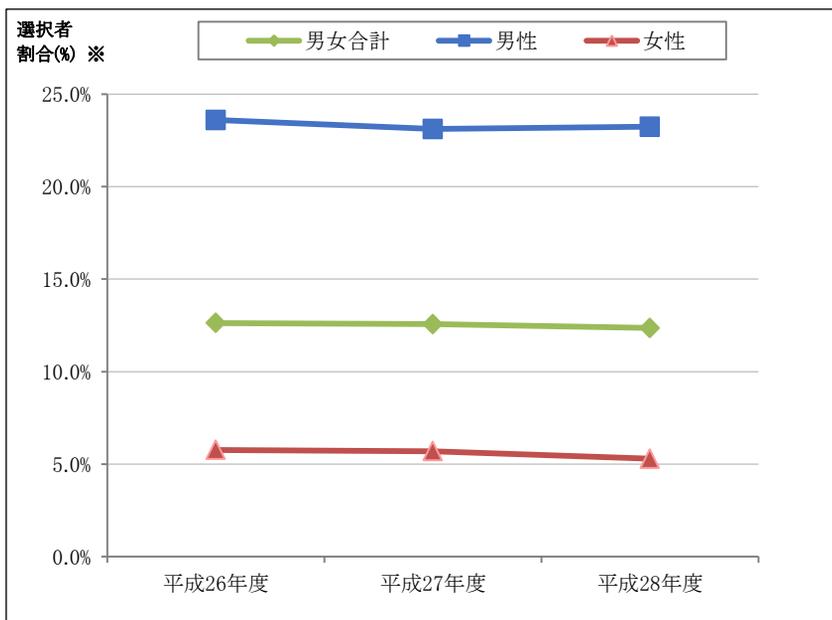
…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の「改善するつもりはない」の回答数を集計。

①喫煙習慣

喫煙者の割合は、男性の方が高いですが、男女とも減少傾向です。

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	5,157	5,451	5,365
	選択者数(人) ※	651	685	663
	選択者割合(%) ※	12.6%	12.6%	12.4%
男性	質問回答者数(人) ※	1,983	2,150	2,113
	選択者数(人) ※	468	497	491
	選択者割合(%) ※	23.6%	23.1%	23.2%
女性	質問回答者数(人) ※	3,174	3,301	3,252
	選択者数(人) ※	183	188	172
	選択者割合(%) ※	5.8%	5.7%	5.3%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

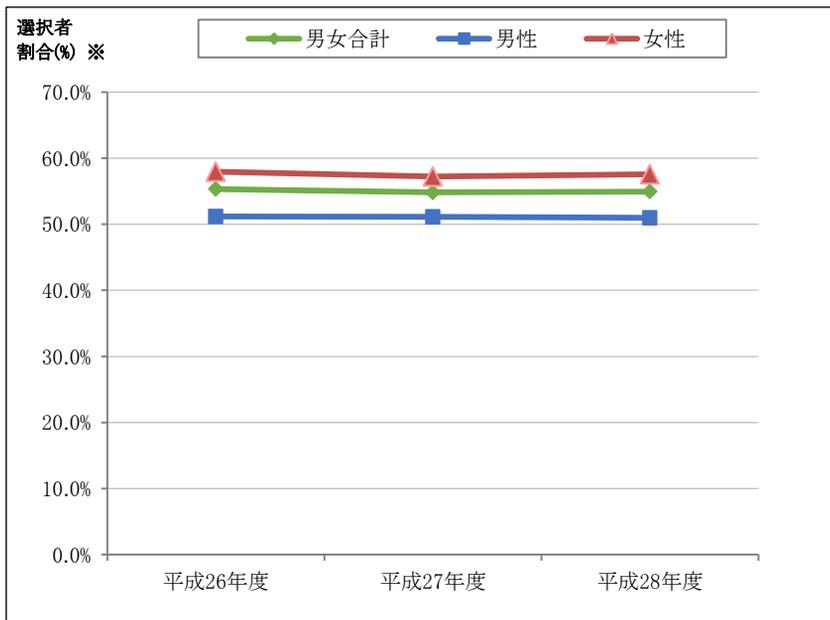
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

約半数の人が運動習慣を持っていない状況です。男性に比べて女性の方が高い傾向です。

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	5,106	5,405	5,322
	選択者数(人) ※	2,826	2,963	2,925
	選択者割合(%) ※	55.3%	54.8%	55.0%
男性	質問回答者数(人) ※	1,960	2,130	2,099
	選択者数(人) ※	1,003	1,089	1,070
	選択者割合(%) ※	51.2%	51.1%	51.0%
女性	質問回答者数(人) ※	3,146	3,275	3,223
	選択者数(人) ※	1,823	1,874	1,855
	選択者割合(%) ※	57.9%	57.2%	57.6%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

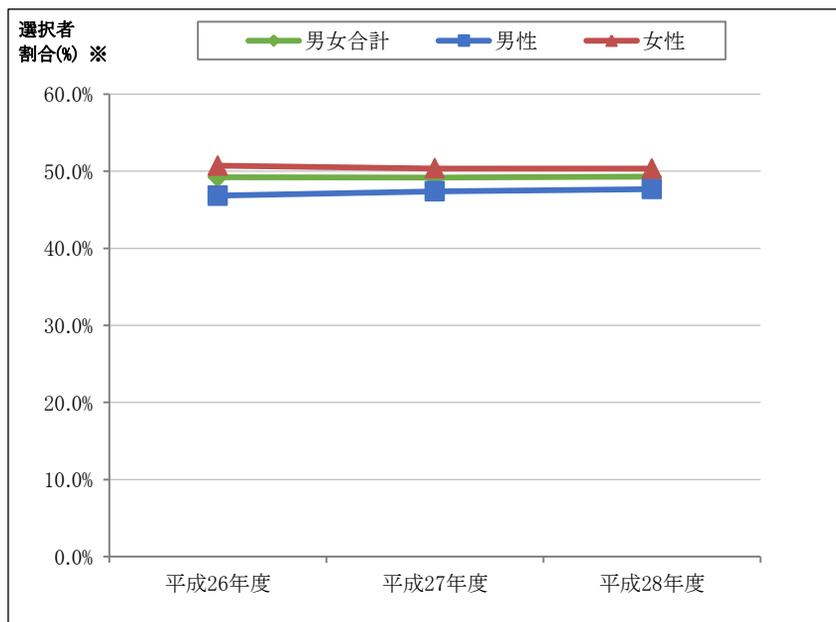
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	5,089	5,411	5,314
	選択者数(人) ※	2,505	2,662	2,619
	選択者割合(%) ※	49.2%	49.2%	49.3%
男性	質問回答者数(人) ※	1,960	2,131	2,093
	選択者数(人) ※	918	1,010	998
	選択者割合(%) ※	46.8%	47.4%	47.7%
女性	質問回答者数(人) ※	3,129	3,280	3,221
	選択者数(人) ※	1,587	1,652	1,621
	選択者割合(%) ※	50.7%	50.4%	50.3%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

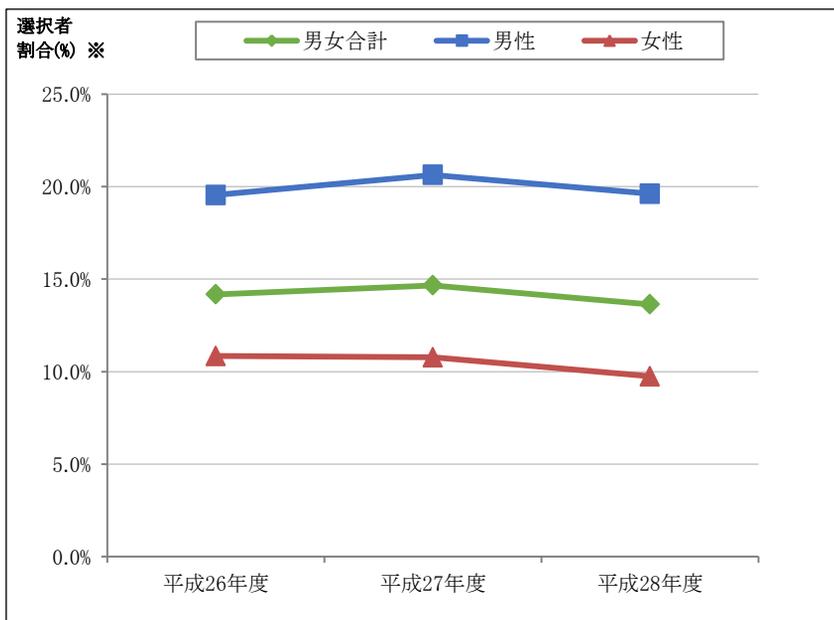
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

「週3回以上就寝前に夕食をとる」と回答した人の割合は、男性が約20%と高いです。また、「週3回以上夕食後に間食をとる」と回答した人の割合は約12%で、男女の差はありませんでした。

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	5,120	5,409	5,332
	選択者数(人) ※	726	793	727
	選択者割合(%) ※	14.2%	14.7%	13.6%
男性	質問回答者数(人) ※	1,965	2,132	2,100
	選択者数(人) ※	384	440	412
	選択者割合(%) ※	19.5%	20.6%	19.6%
女性	質問回答者数(人) ※	3,155	3,277	3,232
	選択者数(人) ※	342	353	315
	選択者割合(%) ※	10.8%	10.8%	9.7%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

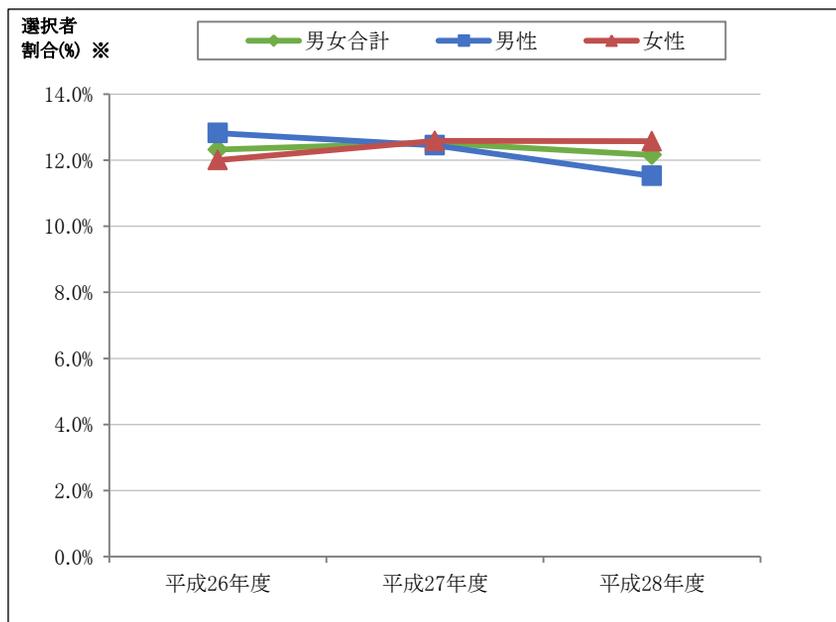
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	5,122	5,418	5,329
	選択者数(人) ※	631	679	648
	選択者割合(%) ※	12.3%	12.5%	12.2%
男性	質問回答者数(人) ※	1,965	2,136	2,100
	選択者数(人) ※	252	266	242
	選択者割合(%) ※	12.8%	12.5%	11.5%
女性	質問回答者数(人) ※	3,157	3,282	3,229
	選択者数(人) ※	379	413	406
	選択者割合(%) ※	12.0%	12.6%	12.6%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

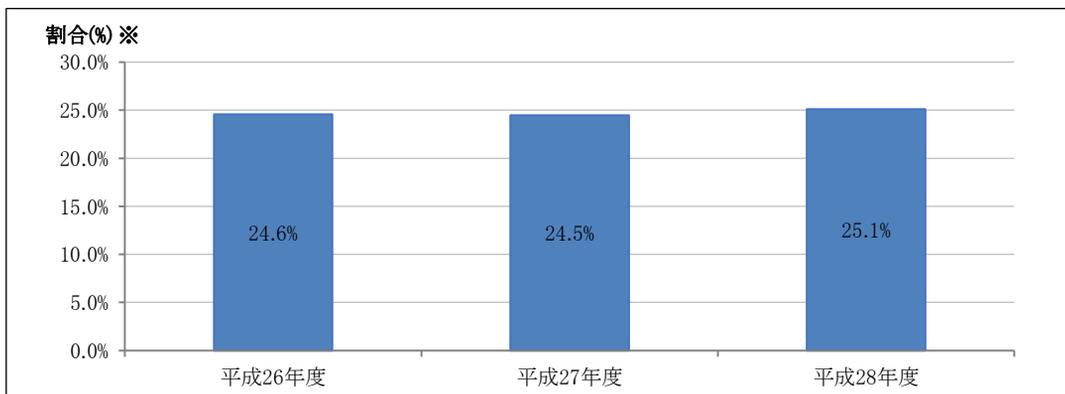
④飲酒習慣

飲酒習慣については、飲酒頻度、「毎日飲酒する」に回答した人の割合は25.1%となっており、毎年若干の増加傾向を認めます。

年度別 飲酒頻度の回答状況(毎日飲酒する)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	5,055	1,242	24.6%
平成27年度	5,359	1,312	24.5%
平成28年度	5,274	1,324	25.1%

年度別 飲酒頻度の回答状況(毎日飲酒する)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

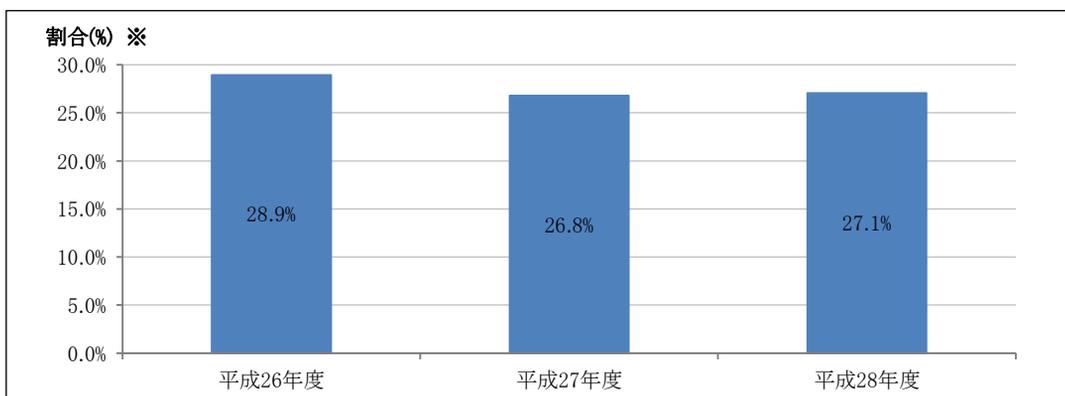
⑤生活習慣

生活習慣については、生活習慣改善の意思の回答状況で、「改善するつもりなし」と回答した割合は平成26年度の28.9%に比べ平成28年度は27.1%と減少していますが、前年度の26.8%より0.3%の増加を認めます。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(改善するつもりなし)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,987	1,443	28.9%
平成27年度	5,303	1,421	26.8%
平成28年度	5,211	1,410	27.1%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(改善するつもりなし)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合 …生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

3. 特定保健指導の実施状況

平成28年度における特定保健指導実施率を以下に示しています。特定保健指導実施率は15.3%で、府や国と比較すると低い状況です。

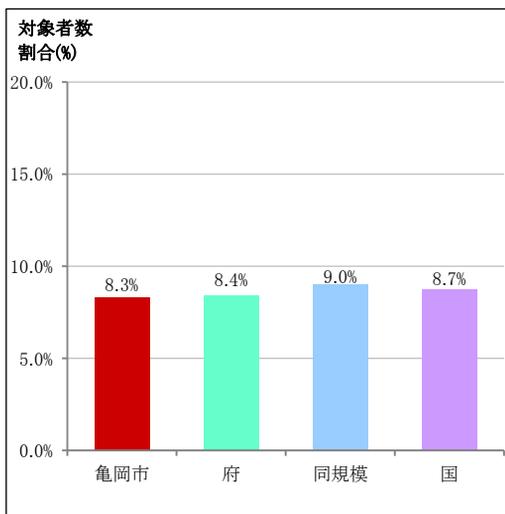
特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
亀岡市	8.3%	2.2%	10.5%	15.3%
府	8.4%	3.5%	12.0%	17.2%
同規模	9.0%	2.9%	11.9%	30.2%
国	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健診を受診した人に対する割合。

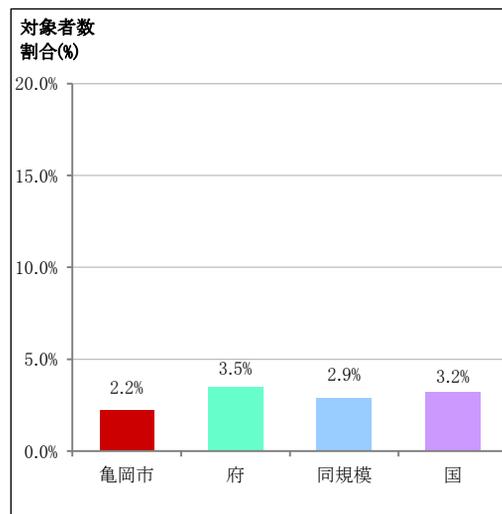
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



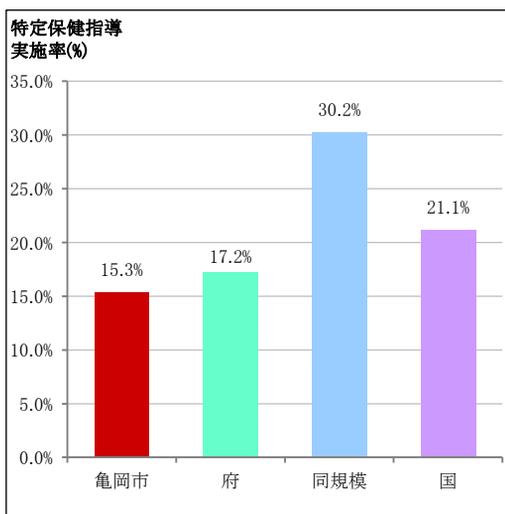
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成25年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示します。平成28年度の特定保健指導実施率15.3%は平成25年度6.7%より8.6ポイント上昇しています。

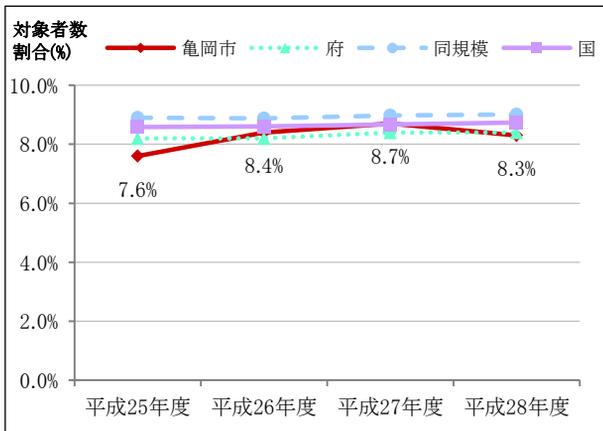
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合				積極的支援対象者数割合				支援対象者数割合				特定保健指導実施率			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
亀岡市	7.6%	8.4%	8.7%	8.3%	2.2%	2.2%	2.4%	2.2%	9.8%	10.6%	11.1%	10.5%	6.7%	6.3%	11.4%	15.3%
府	8.2%	8.2%	8.4%	8.4%	3.6%	3.6%	3.7%	3.5%	11.8%	11.8%	11.7%	12.0%	15.5%	16.1%	12.1%	17.2%
同規模	8.9%	8.9%	9.0%	9.0%	3.4%	3.2%	3.0%	2.9%	12.3%	12.1%	12.0%	11.9%	27.0%	27.5%	28.5%	30.2%
国	8.6%	8.6%	8.7%	8.7%	3.5%	3.4%	3.3%	3.2%	12.1%	12.0%	12.0%	12.0%	21.2%	20.6%	20.5%	21.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

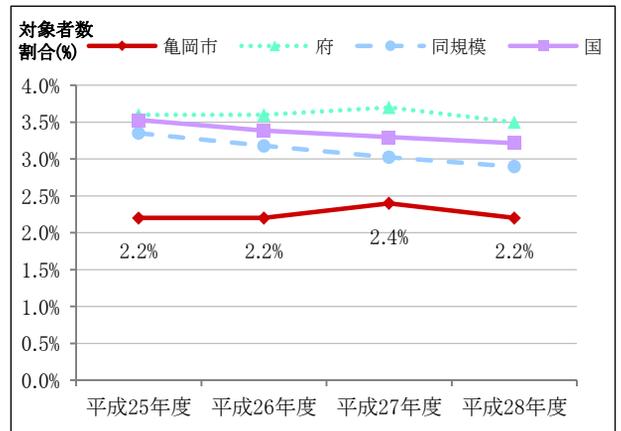
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



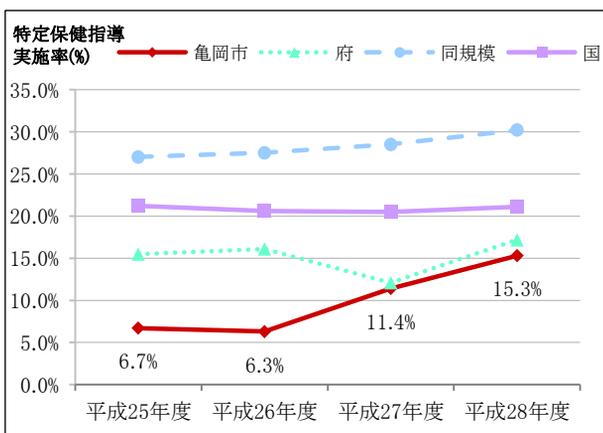
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

4. 健診異常値放置者の状況

平成28年度特定健診の結果で異常値があったが、医療機関の受診をしていない人が681人いました。受診勧奨対象者のリスク因子数(血圧・血糖・脂質・喫煙)が多い人を優先とした結果、最も優先順位が高い候補者Aは0人で、候補者Bは17人、候補者Cは4人、候補者Dは108人でした。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・健診異常値放置者 … 健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

除外患者を除いた候補者数

681人

優先順位(健診異常値放置)

II. 優先順位

↑高 効果 低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 4人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 17人	候補者D 108人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 86人	候補者F 466人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			681人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※「がん患者」「難病患者」など指導が困難な可能性がある人、生活習慣病(糖尿病・高血圧症・脂質異常症)に対するレセプトが発生している人は除外します。

※優先順位の判定は、血圧・血糖・脂質の受診勧奨値を超えたリスク因子数と喫煙の有無によって判定します。

5. 生活習慣病治療中断者の状況

平成28年4月診療分から平成29年3月診療分のレセプトより、期間中二月以上、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診していたが、その後中断している患者を抽出した結果、生活習慣病中断者は118人でした。生活習慣病有病数によって優先順位を判定した結果、毎月受診していたが中断した人が11人いました。

II. 優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 2人	候補者A3 2人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 6人	候補者B2 12人	候補者B3 3人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 5人	候補者C2 60人	候補者C3 28人
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数				118人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月~平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※「がん患者」「難病患者」など指導が困難な可能性がある人、生活習慣病(糖尿病・高血圧症・脂質異常症)に対するレセプトが発生している人は除外します。

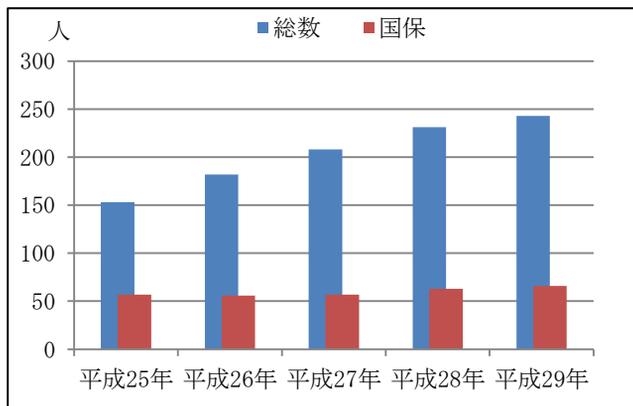
6. 人工透析患者の状況

人工透析患者の身体障害者手帳所持者は年々増加しており、国保加入者も増加しています。人工透析に至った原因疾患内訳は、平成28年度では、糖尿病が30.9%を占めており、年々増加しています。

身体障害者手帳所持者推移(腎臓機能障害)

	手帳所持者	手帳所持者(腎臓)	
		総数(国保)	割合
平成25年	4,633	153(57)	3.30%
平成26年	4,802	182(56)	3.90%
平成27年	4,765	208(57)	4.37%
平成28年	4,649	231(63)	4.97%
平成29年	4,768	243(66)	5.10%

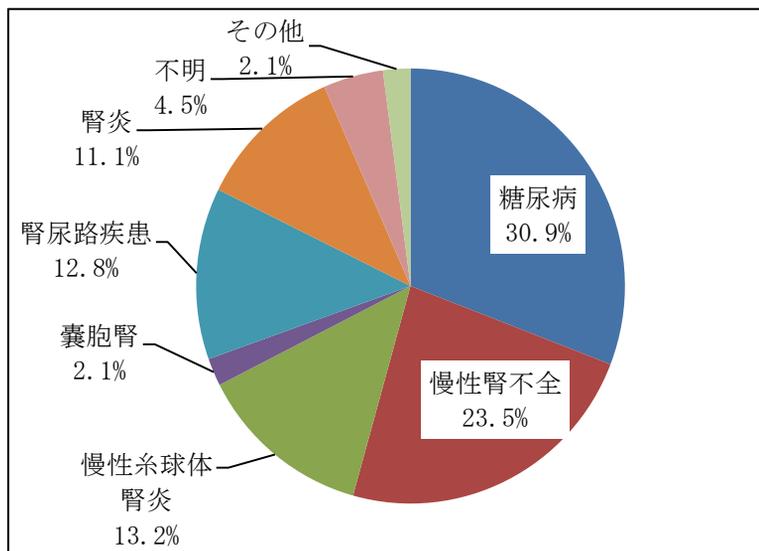
(各年3月末現在)



原因疾患内訳

	糖尿病	慢性腎不全	慢性糸球体腎炎	嚢胞腎	腎尿路疾患	腎炎腎症	ネフローゼ	不明	その他
平成24年度	45	33	20	3	12	11	0	13	1
平成25年度	50	40	21	4	13	12	0	12	1
平成26年度	56	47	27	4	16	18	1	12	1
平成27年度	76	57	28	4	27	26	0	13	0
平成28年度	75	57	32	5	31	27	0	11	5

平成28年度原因疾患内訳



出典:身体障害者手帳所持者推移(亀岡市障害福祉課)

7. 重複多受診者の状況

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータより、重複多受診者は205人でした。指導対象者の優先順位を年齢別にした結果、60歳以上は22人、50～59歳は1人でした。

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に**3医療機関以上**受診している患者
- ・頻回受診患者 …1カ月間で**同一医療機関に12回以上**受診している患者
- ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、**同系医薬品の日数合計が60日を超える**患者

除外患者を除き、候補者となった患者数

205人

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 優先順位

↑高 効果 ↓低	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 12人	候補者C 0人	182人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 8人	候補者D 1人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 2人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	
	←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				23人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※「がん患者」「難病患者」など指導が困難な可能性がある患者を除外します。

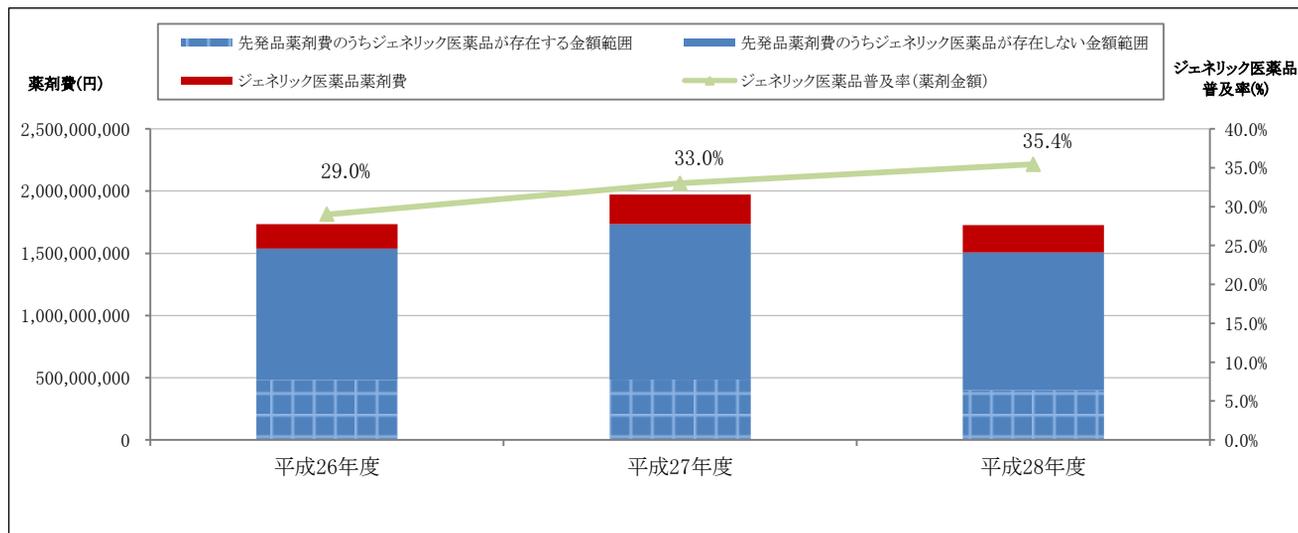
※レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を優先します。

指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を優先し、次に50～59歳を対象とする

8. ジェネリック医薬品普及率の状況

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示します。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)35.4%は、平成26年度29.0%より6.4ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)62.4%は、平成26年度53.9%より8.5ポイント上昇しています。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

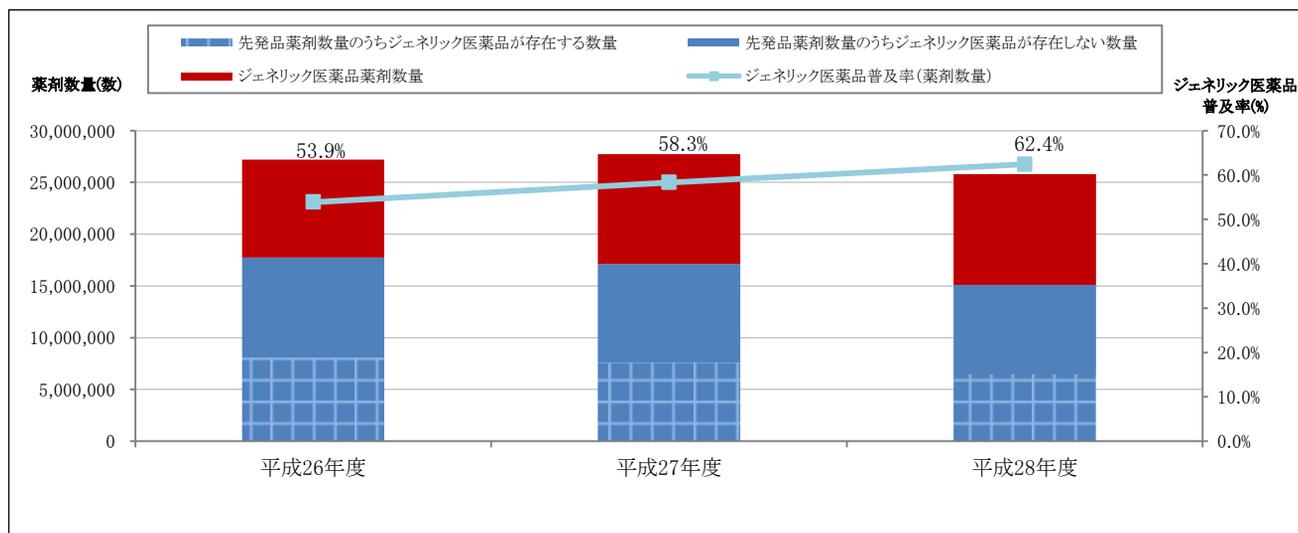


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

第5章 データヘルス計画(第1期)の振り返りと考察

1. 第1期計画の達成状況

事業名	事業目的	実施内容
特定健診	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	個別健診 集団セット健診(がん検診との同時実施) 個別に受診券送付する
特定健診未受診者 受診勧奨	特定健診未受診者に受診勧奨を行い、受診率の向上を図る	特定健診未受診者に受診勧奨はがきを送付する
健康情報提供サービス 「クピオ」	健康意識を高め、健康維持、生活習慣病予防に対する意識付けを高める	インターネットを使った健康情報提供サービスの普及を図る
特定保健指導	生活習慣病該当者及び予備群の減少	未利用者に電話による利用勧奨を実施 指導対象者に対して適切な保健指導を行い、健康診査データより検査値の推移を確認する
健診異常値放置者 受診勧奨	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を送付。通知後に医療機関受診があるか確認し、受診がない対象者には訪問指導を実施する
糖尿病重症化予防	糖尿病予備群の減少と糖尿病患者の適正受診	糖尿病予備群、糖尿病の対象者に市内医療機関が開催する糖尿病教室の案内を通知する 糖尿病の対象者には、医療機関への受診勧奨を実施する
人間ドック 脳ドック	疾病の早期発見、早期治療を促す	費用の一部助成を行い、ドックを実施する
ドック追跡調査	ドック受診後、要精検者に医療機関への受診を促し、疾病の早期治療を促す	要精検者にアンケート方式で医療機関受診勧奨の通知を送付する
重複多受診者訪問指導	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	指導対象者に対して訪問指導を行い、指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認する
ジェネリック 医薬品差額通知	ジェネリック医薬品の使用率を高め、医療費適正化を図る	年4回通知 効果検証を行い、対象者の抽出方法を見直す
医療費通知	医療費通知による医療費適正化を図る	年1回医療費通知を実施 (平成29年度から1年分)

5:目標達成 4:改善している 3:横ばい 2:悪化している 1:評価できない

アウトプット		アウトカム		評価
目標値	達成状況(平成28年度)	目標値	達成状況(平成28年度)	
健診受診率 40%以上	受診率 35.6%	メタボリックシンドローム減少率 25%以上	メタボリックシンドローム減少率 26.2%	4
未受診者の30%以上受診	受診率 28.4%	同上	同上	4
利用者の増加	利用者数 104人	生活習慣改善率向上	今後アンケート等実施予定	3
実施率 60%以上	実施率 15.3%	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 40%以上	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 21.3%	4
医療機関受診率 90%以上	通知数 118通 訪問指導 43人 受診率 75.6%	異常値の改善、コントロールがみられる人が増加する	健診結果 受診不必要 20.3% コントロール良好 22.1%	3
糖尿病参加者数 50人以上	糖尿病教室参加者数 67人 参加率 8.5%	異常値の改善、コントロールがみられる人が増加する	健診結果HbA1c8.0%以上の割合 1.5%	3
新規受診者の実施促進 30%以上	新規受診者* 人間ドック 23% 脳ドック 100% ※過去5年受診なし	要精検者が減少傾向になる	要精検者割合 人間ドック 69.9% 脳ドック 55.0%	3
医療機関受診率 90%以上	医療機関受診率 人間ドック 50.1% 脳ドック 61.1%	要精検者が減少傾向になる	要精検者割合 人間ドック 69.9% 脳ドック 55.0%	3
重複多受診者の抑制	実施者数 1人	重複多受診者の減少傾向	重複多受診者の人数が算定できなかったため評価せず	1
切替率 40%以上	普及率(数量ベース) 37.3%	薬剤費が軽減傾向になる	普及率(金額ベース) 14.6%	3
通知率 100%	全員	重複多受診者の減少傾向	重複多受診者の人数が算定できなかったため評価せず	1

2. 第1期計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は次の通りです。

(1) 特定健診

【事業目的】 メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防

【事業概要】 40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施

【実施内容】 対象者を特定し、受診券を発送

がん検診との同時実施で集団セット健診実施

【目標値(平成29年度末)】

- ・受診率 40%以上
- ・メタボリックシンドローム減少率 25%以上

【達成状況】

受診率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
亀岡市	31.4%	33.6%	35.1%	35.6%
府下市町村平均	29.3%	30.4%	32.0%	32.5%
全国市町村平均	34.2%	35.3%	36.3%	-

メタボリックシンドローム減少率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
亀岡市	21.7%	21.5%	24.0%	26.2%
府下市町村平均	23.4%	21.1%	22.8%	22.1%

【考察】 受診率は徐々に増加していますが、目標値の40%は達成できていません。

平成29年度より集団セット健診を実施し、受診率の向上を図りました。

メタボリックシンドロームの減少率は目標値である25%を達成しておりますので、目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討します。

(2) 特定健診未受診者受診勧奨

【事業目的】 特定健診未受診者の受診率の向上

【事業概要】 特定健診未受診者に受診勧奨を実施

【実施内容】 特定健診未受診者に受診勧奨はがきを送付

【目標値(平成29年度末)】

- ・未受診者の30%以上受診

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度
受診率(%)	26.1%	28.4%

【考察】 平成28年度の受診率は28.4%です。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討します。

(3) 健康情報提供サービス「クピオ」

【事業目的】 インターネットを使った健康情報提供サービスの普及を図り、健康維持・生活習慣病に対する意識付けをはかる

【事業概要】 健康情報提供サービス「クピオ」の利用について広報し、健診結果の登録や健康情報を提供する

【実施内容】 特定健診受診券送付時や市ホームページで広報し、利用を促す
ログインユーザー登録した者は特定健診の結果が閲覧できる

【目標値(平成29年度末)】

- ・利用者の増加

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度
利用者数	86人	104人

【考察】 利用者数は増加しています。結果にもとづき目標値等の見直しを行い、更なる取り組みを検討します。

(4) 特定保健指導

【事業目的】生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値の改善のための専門職による栄養指導や運動指導を実施

【実施内容】未利用者に電話による利用勧奨を実施
指導対象者に対して適切な保健指導を行い、健診データより検査値の推移を確認

【目標値(平成29年度末)】

・実施率 60%

【達成状況】

実施率

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
亀岡市	積極的支援	6.5%	2.6%	5.4%	11.0%
	動機付け支援	6.7%	7.3%	13.0%	16.5%
	計	6.7%	6.3%	11.4%	15.3%
府下市町村平均		16.7%	17.6%	17.3%	19.1%
全国市町村平均		22.5%	23.0%	23.6%	-

特定保健指導対象者の減少率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
亀岡市	18.6%	19.1%	19.8%	21.3%
府下市町村平均	19.2%	19.1%	18.5%	18.0%

【考察】実施率は年々増加していますが、目標値は達成できていませんが、特定保健指導対象者の減少率は増加しています。

平成28年度より集団保健指導を実施しており、保健指導の内容、利用勧奨の方法などの見直しを行い、更なる取り組みを検討します。

(5) 健診異常値放置者受診勧奨

【事業目的】 健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【事業概要】 特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者に受診勧奨を実施

【実施内容】 健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を送付します。通知後に医療機関受診があるかを確認し、受診がない対象者には訪問指導を行う

【目標値(平成29年度末)】

- ・医療機関受診率 90%以上

【達成状況】

実施状況

	平成27年度	平成28年度
通知数	145通	118通
訪問指導者数	38人	43人
受診率(%)	71.0%	75.6%

特定健診結果(異常なしの割合)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
受診不必要 (生活習慣病未治療者)	20.7%	20.6%	19.2%	20.3%
コントロール良好 (生活習慣病治療中者)	22.2%	22.3%	21.7%	22.1%

【考察】 平成28年度の受診率は75.6%で目標を達成できていません。また、特定健診の結果で、異常なしの割合も変化はありませんでした。通知内容、指導内容の見直しを行い、更なる取り組みを検討します。

(6) 糖尿病重症化予防事業

【事業目的】 糖尿病予備群の減少と糖尿病患者の適正受診

【事業概要】 特定健診の結果から、糖尿病予備群、糖尿病の判定が出た対象者に、糖尿病に関する情報提供及び医療機関受診を促す

【実施内容】 糖尿病予備群、糖尿病の対象者に市内医療機関が開催する糖尿病教室の案内を通知し、受診が必要な対象者には、医療機関への受診勧奨を実施

【目標値(平成29年度末)】

- ・糖尿病参加者数 50人以上

【達成状況】

糖尿病教室参加率

	平成28年度
通知者数	788人
参加者数	67人
参加率	8.5%

特定健診結果(HbA1c異常数値者の割合)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
HbA1c7.0%以上	3.8%	3.9%	3.3%	4.1%
HbA1c8.0%以上	1.4%	1.3%	1.0%	1.5%

【考察】 平成28年度の参加者数の目標値は達成しましたが、特定健診の結果で、HbA1cの異常数値者の割合は増加しています。

また、医療機関実施の糖尿病教室であったため、糖尿病予備群の人向けの内容ではなかったため、市主催の教室も実施し、内容を見直し、更なる取り組みを検討します。

(7) ドック追跡調査

【事業目的】 ドック受診の結果、要精検者の早期治療を促す

【事業概要】 ドックの結果から、要精検となった人に医療機関受診を促し、早期治療を促す

【実施内容】 要精検者にアンケート方式で医療機関受診勧奨を送付

【目標値(平成29年度末)】

- ・ 医療機関受診率 90%以上
- ・ 要精検者が減少傾向になる

【達成状況】

		平成27年度	平成28年度
要精検者割合	人間ドック	61.7%	69.9%
	脳ドック	58.5%	55.0%
医療機関受診率	人間ドック	50.4%	50.1%
	脳ドック	50.0%	61.1%

【考察】 平成28年度の要精検者の割合は人間ドック、脳ドックとも半数を超えています。医療機関受診率も約半数となっており、放置されている可能性があります。受診勧奨通知の内容を見直し、疾病の早期治療の重要性を周知する必要があります。

(8) 重複多受診者訪問指導

【事業目的】 重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【事業概要】 重複多受診者一覧表から、同一疾病で複数の医療機関を受診している、あるいは通院日数が多い者に対して適正受診を促す

【実施内容】 指導対象者に対して訪問指導を行い、指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認

【目標値(平成29年度末)】

- ・ 重複多受診者の減少

【達成状況】

		平成28年度
実施者数(人)		1人

【考察】 平成28年度実施者数で1人の改善がみられました。評価については、重複多受診者数の把握が難しく、実施できませんでした。指導対象者の把握、保健指導の実施方法、評価方法の見直しを行います。

(9) ジェネリック医薬品差額通知事業

【事業目的】 ジェネリック医薬品の普及率向上

【事業概要】 レセプトデータから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、通知書送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促す

【実施内容】 年4回対象者を選定し、差額通知を送付し、効果検証を行う

【目標値(平成29年度末)】

- ・切替率 40%以上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度
医薬品率(数量ベース)	34.3%	37.3%
薬剤率(金額ベース)	13.9%	14.6%

【考察】 平成28年度の医薬品率は37.3%で、薬剤率は14.6%です。結果に基づき目標値等の見直しを行い、対象者の選定や通知方法を見直し、更なる取り組みを検討します。

(10) 医療費通知

【事業目的】 医療費通知による医療費適正化

【事業概要】 実際にかかった医療費を通知し、国保医療費の実態を理解してもらい、医療費適正化を図る

【実施内容】 年1回医療費通知を実施
(平成28年度まで1カ月分、平成29年度から1年分通知)

【目標値(平成29年度末)】

- ・医療費通知 全員
- ・重複多受診者の減少

【達成状況】

対象者全員に通知

評価については、重複多受診者数の把握が難しく、実施できませんでした。

【考察】 平成29年度より通知内容の見直しを行いました。2期計画より、目標値を設定し評価していきます。

第6章 第2期保健事業実施計画

1. 健康課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆人口・国保加入状況 亀岡市の高齢化率は年々上昇しています。また、それに比例して65歳以上の国保加入率が増加しています。今後、65歳以上の医療費の増加が見込まれるため、対策が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 60歳代以下の年齢層に対する生活習慣病予防事業
<p>◆医療費状況 高血圧症、腎不全、糖尿病の医療費高く、高血圧症や糖尿病の患者数の割合が増加傾向です。また、平成26年度～平成27年度には、腎不全は第4位でしたが、平成28年度には第2位となっています。 高額レセプト発生患者の疾患傾向では、骨折、虚血性心疾患、腎不全が上位を占めます。 介護認定者数は、増加傾向にあります。認定者の有病状況では、心臓病が最も高く、ついで筋骨格系です。 生活習慣病の重症化、高額な医療費、介護認定の流れをくい止めるために、生活習慣病予防事業、重症化予防事業の強化が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣予防事業 重症化予防事業
<p>◆特定健診受診率及び特定保健指導実施率 生活習慣病の医療費が増加傾向のため、また、メタボ該当者の割合が増加傾向であることから、特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要があります。特定健診の受診率が伸び悩んでおり、特定保健指導の実施率も低い状況です。集団セット健診日を増加や受診勧奨の通知方法の見直しなどが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の受診勧奨 特定保健指導の利用勧奨と実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在します。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健診異常値放置者受診勧奨 生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症 亀岡市において、腎不全の医療費が高く、患者数も増加傾向であることから対策が必要です。人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在するため、糖尿病発症予防、重症化予防事業の充実を図る必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要です。平成28年度の指導実施者は1名でしたが、指導後、適正受診に結びつきました。対象者が多く存在するため、指導方法を構築し、指導対象者を増やしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重複多受診者訪問指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、普及促進についての見直しを行う必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品差額通知

2. 保健事業実施計画の概要

(1) 重点的に取り組む保健事業実施計画

事業名	事業目的	事業概要
特定健診	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の人を対象とし特定健診を実施する
特定健診未受診者受診勧奨	特定健診未受診者に受診を促し、受診率の向上を図る	特定健診を受けていない人に受診勧奨を実施する
特定保健指導	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行う
健診異常値放置者受診勧奨	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、受診勧奨を行う
糖尿病予備群対策	糖尿病予備群の減少と糖尿病患者の適正受診	特定健診の検査値から糖尿病予備群の人に市内医療機関の糖尿病教室の案内を通知する 糖尿病の治療が必要な人に医療機関の受診勧奨を行う
糖尿病治療中断者受診勧奨	糖尿病治療中断者の減少と病期進行阻止	かつて糖尿病で受診をしていたが、その後受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う
糖尿病性腎症重症化予防	糖尿病患者の病期進行阻止	特定健診の検査値から対象者を特定し、かかりつけ医と連携して、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職が面談指導を行う
重複多受診者訪問指導	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
個別健診 集団セット健診(がん検診と同時実施)の拡充 受診券送付時の広報の見直し	受診率 46%以上	特定保健指導対象者の減少率 28%
未受診者に受診勧奨通知書を郵送 通知後に対象者が特定健診を受診したかどうかを確認する	対象者への通知率 100%	未受診者受診率 30%以上
指導対象者に対して適切な保健指導を行い 指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する 利用勧奨の実施	特定保健指導終了者割合 28%以上	特定保健指導による特定保健指導対象者減少率 30%以上
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知を送付 通知後に医療機関受診があるか確認し、受診がない対象者には訪問指導を実施する	対象者への通知率 100%	医療機関受診率 90%以上
糖尿病予備群・糖尿病の対象者に糖尿病教室の案内を通知 医療機関受診が必要な人には受診勧奨を通知	糖尿病教室参加者数 80人以上	特定健診結果 HbA1c7.0%以上の人の割合2.0%以下 医療機関受診率 90%以上
糖尿病治療中断者に医療機関受診勧奨通知とアンケートを送付 通知後に医療機関受診があるか確認し、受診がない対象者にはフォローを実施する	対象者への通知率 100%	医療機関受診率 50%以上
指導対象者に対して適切な保健指導を実施 指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する	対象者の指導実施 10人以上	特定健診結果 HbA1c8.0%以上の人の割合1.2%以下 新規人工透析患者数の減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行い、 指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する	対象者の指導実施率 100%	重複多受診者、重複服薬者の減少

(2) その他の保健事業実施計画

事業名	事業目的	事業概要
人間ドック 脳ドック	疾病の早期発見、早期治療を促す	費用の一部助成を行い、ドックを実施する
ドック追跡調査	ドック受診後、要精検者に医療機関への受診勧奨を行い、疾病の早期治療を促す	要精検者にアンケート方式で医療機関受診を促す
歯周疾患健診	歯周疾患の予防、早期発見、早期治療を促す	希望者に対して歯周疾患健診の費用の一部助成を行う
健康相談	国保加入者の健康相談を行う	特定健診やドックの結果説明、健康相談を面談及び電話で行う
健康情報提供サービス「クピオ」	インターネットを使った健康情報提供サービスの普及をはかり、健康維持・生活習慣病予防に対する意識付けを高める	健康情報提供サービス「クピオ」の利用について広報し、健診結果の登録や健康情報を提供する
ジェネリック医薬品 差額通知	ジェネリック医薬品の使用率を高め、医療費適正化を図る	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、対象者に通知書送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促す
医療費通知	医療費通知による医療費適正化を図る	レセプトデータから、加入者の年間医療費の通知を行い、適正受診を促す
柔道整復術療養費 適正化	患者照会を行うことによる柔道整復術療養費の適正化をはかる	柔道整復術療養費のデータから、受診日数が多い対象者に施術内容の照会を行う

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
新規受診者を優先して実施 応募者が多く受診できなかった人には、特定健診やがん検診の案内を行う 健診メニューの見直しを行う	新規受診者の増加	新規受診者受診率 30%以上
ドック受診後、要精検者に医療機関受診の有無を確認するアンケートを実施と受診勧奨を行う	アンケート回収率 100%	医療機関受診率 90%以上
希望者に対して利用券を発行する 節目健診(40歳・45歳・50歳)の対象者に案内と利用券を個別通知する	利用者の増加	歯周疾患医療費の減少
ドックや特定健診受診者に健康相談のチラシを送付 健康増進課で実施している健康相談の案内	実施の促進 20名	利用者の増加
特定健診受診券送付時や市ホームページで広報し、利用を促す ログインユーザー登録した者は特定健診などの結果が閲覧できる	実施の促進 200名	利用者の増加
ジェネリック医薬品差額通知書を送付 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する	ジェネリック医薬品普及率 数量ベース 40%	ジェネリック医薬品普及率 金額ベース 20%
レセプトデータから、年間の医療費通知を送付する	対象者への通知率 100%	重複多受診者、重複服薬者の減少
柔道整復術療養費のデータから、受診日数が多い対象者に施術内容をアンケート形式で照会する パンフレットを使い、正しい受診の方法について周知する	対象者への通知率 100%	柔道整復術多受診者の減少

3. 重点的に取り組む保健事業の実施内容について

(1) 特定健診

【事業目的】

メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防

【事業概要】

40歳から74歳の人を対象とし特定健診を実施

【実施内容】

- ・ 個別健診の実施内容の見直し
- ・ 受診機会を増やすため、集団セット健診(がん検診との同時実施)の拡充
- ・ 受診率向上のため、受診券送付時の広報の見直し

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
健診受診率 46%以上	特定保健指導対象者の減少率 28%以上

(2) 特定健診未受診者受診勧奨

【事業目的】

特定健診の受診率向上

【事業概要】

特定健診未受診者を対象者に受診を促す

【事業内容】

- ・ 特定健診未受診者の特定
- ・ 受診勧奨通知を作成
年齢別、受診歴の有無などで通知内容を変える
電話による受診勧奨
- ・ 対象者の受診を確認

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
対象者への通知 100%	未受診者受診率 30%以上

(3) 特定保健指導

【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【実施概要】

特定健診の結果から特定保健指導対象者を選定し、生活習慣や検査値の改善のための専門職による栄養指導や運動指導を実施

【実施内容】

- ・ 特定保健指導対象者を選定し、利用券を送付
- ・ 特定保健指導の実施(集団・個別)
- ・ 利用勧奨の実施
- ・ 実施者の評価

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
特定保健指導修了者割合 28%以上	特定保健指導による特定保健指導対象者減少率 30%以上

(4) 健診異常値放置者受診勧奨

【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書の送付及び訪問指導にて受診勧奨を実施

【実施内容】

- ・ 健診結果で受診勧奨値を超えているが、医療機関の受診が確認できなかった者に受診勧奨通知とパンフレットを送付
- ・ 通知後、レセプト等で医療機関受診を確認し、未受診の場合は訪問指導を実施
- ・ 訪問指導実施後、レセプト等で医療機関受診を確認

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
対象者への通知 100% 訪問指導実施者数 50名以上	医療機関受診率 90%以上

(5) 糖尿病予備群対策

【事業目的】

糖尿病予備群の減少と糖尿病患者の適正受診

【実施概要】

特定健診の検査値から、糖尿病予備群の人に市内医療機関の糖尿病教室の案内を実施
糖尿病の治療が必要な人に受診勧奨を実施

【実施内容】

- ・ 特定健診の検査値から対象者を特定
- ・ 糖尿病教室の案内を通知
治療が必要な人には受診勧奨通知を実施
- ・ 糖尿病教室の参加者を把握
医療機関受診状況を確認

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
糖尿病参加者数 80名以上	特定健診結果 HbA1c7.0%以上の人の割合 2.0%以下 医療機関受診率 90%以上

(6) 糖尿病治療中断者受診勧奨

【事業目的】

糖尿病治療中断者の減少

【実施概要】

かつて糖尿病で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した対象者を特定し、
通知書を送付することで受診勧奨を実施

【実施内容】

- ・ レセプトデータから対象者を特定
- ・ 医療機関受診勧奨通知、受診状況アンケートを送付
- ・ 医療機関受診状況を確認

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
対象者への通知 100%	医療機関受診率 50%以上

(7) 糖尿病性腎症重症化予防

【事業目的】

糖尿病患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健診の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、医師の指示に従い、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職が面談指導と電話指導を行う

【実施内容】

- ・ 健診結果より、対象者を特定し案内を送付
- ・ かかりつけ医より指示をもらい、市保健師・管理栄養士が指導
- ・ 指導後、生活習慣や検査値の改善状況を確認

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
対象者の指導実施 10人以上	特定健診結果 HbA1c8.0%以上の人の割合 1.2%以下 新規透析患者数の減少

(8) 重複多受診者訪問指導

【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を実施

【実施内容】

- ・ 重複多受診者リストやレセプトから対象者を特定
- ・ 対象者へ訪問指導を実施
- ・ 指導後、受診行動が改善されているか確認

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
対象者の指導実施率 100%	重複多受診者、重複服薬者の減少

4. その他の保健事業の実施内容について

(1) 人間ドック・脳ドック

【事業目的】

疾病の早期発見、早期治療を促す

【実施概要】

費用の一部助成を行い、ドックを実施する

【実施内容】

- ・新規受診者を優先して実施
- ・応募者が多く受診できなかった人には、特定健診やがん検診の案内を行う
- ・健診メニューの見直しを行う

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
新規受診者の増加	新規受診者受診率 30%以上

(2) ドック追跡調査

【事業目的】

ドック受診後、要精検者に医療機関への受診勧奨を行い、疾病の早期治療を促す

【実施概要】

要精検者にアンケート方式で医療機関受診を促す

【実施内容】

- ・ドック受診後、要精検者に医療機関受診の有無を確認する
- ・アンケートを実施と受診勧奨を行う

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
アンケート回収率 100%	医療機関受診率 90%以上

(3) 歯周疾患健診

【事業目的】

歯周疾患の予防、早期発見、早期治療を促す

【実施概要】

希望者に対して歯周疾患健診の費用の一部助成を行う

【実施内容】

- ・希望者に対して利用券を発行する
- ・節目健診(40歳・45歳・50歳)の対象者に案内と利用券を個別通知する

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
利用者の増加	歯周疾患医療費の減少

(4) 健康相談

【事業目的】

国保加入者の健康相談を行う

【実施概要】

特定健診やドックの結果説明、健康相談を面談及び電話で行う

【実施内容】

- ・ドックや特定健診受診者に健康相談のチラシを送付
- ・健康増進課で実施している健康相談の案内

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
実施の促進 20名	利用者の増加

(5) 健康情報提供サービス「クピオ」

【事業目的】

インターネットを使った健康情報提供サービスの普及をはかり、健康維持・生活習慣病予防に対する意識付けを高める

【実施概要】

健康情報提供サービス「クピオ」の利用について広報し、健診結果の登録や健康情報を提供する

【実施内容】

- ・ 特定健診受診券送付時や市ホームページで広報し、利用を促す
- ・ ログインユーザー登録した者は特定健診などの結果が閲覧できる

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
実施の促進 200名	利用者の増加

(6) ジェネリック医薬品差額通知事業

【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、通知書を送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促す

【実施内容】

- ・ レセプトより対象者を特定
- ・ 薬剤費軽減額が高い者から優先的に、ジェネリック医薬品への切り替えを促す通知を送付
- ・ ジェネリック医薬品の使用率を確認

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
ジェネリック医薬品普及率 数量ベース 40%以上	ジェネリック医薬品普及率 金額ベース 20%以上

(7) 医療費通知

【事業目的】

医療費適正化

【実施概要】

レセプトデータから、加入者の年間医療費の通知を行い、適正受診を促す

【実施内容】

- ・レセプトから通知書を作成
- ・対象者へ通知
- ・受診行動の改善を確認

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
対象者への通知率 100%	重複多受診者・重複服薬者の減少

(8) 柔道整復術療養費適正化

【事業目的】

患者に施術内容の照会を行うことによる柔道整復術療養費の適正化を図る

【実施概要】

柔道整復術療養費のデータから、受診日数が多い対象者に施術内容の照会を行う

【実施内容】

- ・柔道整復術療養費のデータから、受診日数が多い対象者に施術内容をアンケート形式で照会する
- ・パンフレットを送付し、正しい受診方法について周知する

【目標値】

アウトプット・アウトカムを次の通り設定します。

アウトプット	アウトカム
対象者への通知率 100%	柔道整復術多受診者の減少

1. 計画策定の背景

我が国では、高齢化の急速な進展と生活習慣病が増加し、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占め、生活習慣病の医療費の割合も国民医療費の3分の1を占めています。

国は、このような状況に対応するため、生活習慣病の発症、重症化予防を重視することとし、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、医療保険者に特定健診・特定保健指導の実施を義務づけました。本市においても、「特定健康診査等基本指針」に基づき、「亀岡市国民健康保険特定健康診査等実施計画(第2期)」(計画期間：平成25年度～平成29年度)を策定し、実施してきました。

本計画は、第2期における特定健診及び特定保健指導の実施結果を踏まえ、計画を見直し、第3期特定健康診査等実施計画を策定します。

なお、計画期間は、第1期及び第2期では5年を一期としていましたが、医療費適正化計画等が見直されたことを踏まえ、第3期は6年を一期(平成30年度～平成35年度)として策定します。

2. 計画策定の目的

特定健診は、メタボリックシンドロームに着目し、内臓脂肪の蓄積を把握することにより、糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病の予防を図ることを目的として実施します。内臓脂肪型肥満に起因する高血圧症、糖尿病、脂質異常症は予防可能であり、発症した後も、血糖、血圧等をコントロールすることにより、重症化を予防することが可能であるという考え方を基本としています。

また、特定保健指導は内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣病を改善するための保健指導を行うことにより、自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行い、健康的な生活を維持することができるようになることを通じ、生活習慣病を予防することを目的に実施します。

3. 目標値の設定

特定健康診査等基本指針に掲げる平成35年度における目標値の参酌標準は、市町村国保では特定健診実施率60%、特定保健指導実施率60%となっています。本市では、特定健康診査等実施計画(第2期)の実施状況、データの分析結果及び同規模保険者や京都府全体の受診率等を踏まえ、目標値を以下のとおり設定します。また、第3期は、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率については、特定保健指導対象者の減少率を用いて目標値を設定します。

	目 標 値						国の平成35年度 目標値参酌標準
	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	
特定健診の 実施率	36.0%	38.0%	40.0%	42.0%	44.0%	46.0%	60.0%
特定保健指導の 実施率	18.0%	20.0%	22.0%	24.0%	26.0%	28.0%	60.0%
特定保健指導対象者の 減少率	-	-	-	-	-	28.0%	-

(1) 特定健診の実施率

特定健診受診率は、平成28年度で35.6%となっています。このため、平成30年度の目標値については、平成28年度特定健診受診率を勘案して36.0%と設定し、平成28年度の同規模保険者の実施率である39.5%を目標に、毎年、2%ずつ増加させていくように設定し、平成35年度は46.0%を目標に特定健診受診率の向上に努めていきます。

		目 標 値					
		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
実施率		36.0%	38.0%	40.0%	42.0%	44.0%	46.0%
実施者数		4,980	5,180	5,372	5,556	5,734	5,904
対象者数	40歳-64歳	5,460	5,381	5,302	5,222	5,144	5,067
	65歳-74歳	8,373	8,251	8,129	8,008	7,887	7,769
	合 計	13,833	13,632	13,431	13,230	13,031	12,836

(2) 特定保健指導の実施率

特定保健指導実施率は、平成28年度で15.3%となっています。このため、平成30年度の目標値については、平成28年度特定保健指導実施率を勘定して18.0%、平成28年度と同規模保険者の実施率である30.2%を目標とし、毎年、2%ずつ増加させていくように設定し、平成35年度は28.0%を目標に特定保健指導実施率の向上に努めていきます。

		目 標 値					
		平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
実施率		18.0%	20.0%	22.0%	24.0%	26.0%	28.0%
実施者数	動機付け支援	78	90	110	110	124	137
	積極的支援	21	24	29	30	33	37
	合 計	99	114	139	140	157	174
対象者数		551	571	633	695	753	809

4. 特定健診の実施

(1) 特定健診の基本的な考え方

日本内科学会等の内科系8学会が合同でメタボリックシンドロームの診断基準が示され、内臓脂肪の蓄積に着目した保健指導の重要性が明確化されました。内臓脂肪型肥満に起因する糖尿病、脂質異常症、高血圧は予防可能であり、また、発症してしまった後でも、血糖、血圧等をコントロールすることにより、重症化を予防することが可能であるという考え方を基本としています。

特定健診は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、この該当者および予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする人や、特定保健指導の対象者とならないが、重症化を予防するための情報提供や保健指導を必要とする人を、的確に抽出するために行います。

(2) 実施方法

項目	内容
対象者	実施年度中に40～74歳となる国保被保険者 (当該年度において75歳に達する者を含む)
実施場所	個別健診：市内の各指定医療機関、集団健診：市内施設等
実施時期	毎年6月上旬から10月下旬まで
周知、案内方法	対象者に受診券、受診案内を個別に郵送(5月下旬) 広報紙、ホームページ等で周知
健診結果の説明	受診医療機関で健診結果の手渡し・説明、もしくは郵送による通知
土日、祝日の実施	予定あり
自己負担	1,000円 ※70歳以上及び節目年齢(40歳・45歳・50歳)は無料
契約形態	個別健診：亀岡市医師会に委託(一部医療機関と個別契約) 集団健診：健診実施機関に委託
外部委託の基準	厚生労働省令である「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」に基づき、厚生労働大臣が告示にて定める外部委託に関する基準を満たしている機関であること
データの保管及び管理方法	原則として特定健診を受託する医療機関が、国の定める電子的標準様式により、京都府国民健康保険団体連合会(以下「国保連合会」という)へ提出 事業者健診や人間ドック健康診断等他の健診を受診した者から収集した特定健診の結果データについては、亀岡市が、国の定める電子的標準様式により、国保連合会へデータを提出 特定健診の結果データは、原則5年間保存とし、国保連合会に管理及び保管を委託
費用の支払及びデータの送信事務の代行機関の有無	国民健康保険中央会が開発した特定健診等データ管理システムを活用してデータ管理及び費用決済を行うこととするため、特定健診・特定保健指導の結果データのチェック、保存、費用請求の審査、支払、決済等に係る事務及びデータの送受信について、京都府国民健康保険団体連合会に委託

(3) 健診項目

項 目		
基本項目	診察	問診・身長・体重・BMI・腹囲・理学的所見(身体診察)
		血圧
	脂質検査	中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール
	肝機能検査	AST (GOT)・ALT (GTP)・ γ -GT (γ -GTP)
	血糖検査	HbA1c・空腹時血糖または随時血糖
	尿検査	尿糖・尿蛋白・尿潜血※・尿ウロビリノーゲン※
	痛風検査	尿酸※
	血液学検査	白血球数※・血小板数※
詳細項目	血清クレアチニン・eGFR	
	貧血検査(赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値)	
	心電図検査(12誘導心電図)	
	眼底検査	

詳細項目：一定の基準の下、医師が必要と認めた場合に実施

ただし、血清クレアチニン、eGFR、貧血検査については一律実施

※印は、市独自の検査項目

5. 特定保健指導の実施

(1) 保健指導の基本的な考え方

保健指導の目的は、生活習慣病予備群の人を生活習慣病に移行させないことにあります。そのためには、保健指導の対象者自身が健診結果を理解するとともに、自らの生活習慣を振り返り、その生活習慣を改善するための行動目標の設定し、実行することが必要となります。

【特定保健指導】

特定健診の結果から選定された特定保健指導対象者に対して、専門職が生活習慣の改善につながる栄養指導や運動指導を行うとともに、対象者に合った行動計画の作成を行います。また、特定保健指導対象者自らが実践できるよう、市の様々な講座や教室、施設等の紹介をするなどの支援を行い、対象者が自分の健康に関するセルフケア(自己管理)ができるよう取り組んでいきます。

【特定保健指導以外の保健指導】

健診受診者のうち、血糖、血圧、及び脂質が基準値を超えている受診勧奨判定値以上の人で、医療機関への受診が確認できない人に対して、適切に健診結果の情報提供を行い、医療機関への受診勧奨を行います。

★対象者の判定基準

腹囲	追加リスク	④喫煙歴	対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳～64歳	65歳～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当	/	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外で BMI25以上	3つ該当	/	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

①血 糖 空腹時血糖100mg/dl以上、またはHbA1c5.6%以上

②脂 質 中性脂肪値150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血 圧 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

④質問票 喫煙歴あり(①～③のリスクが1つ以上の場合にのみカウント)

※問診による服薬中者(血圧・血糖・脂質)は対象外

(2) 実施方法

項目	内容
実施場所	保健センター等市内施設
実施期間	<p>◆動機付け支援 初回面接から3カ月間(最低限実施の場合) 原則1回の支援を行い、3カ月以上経過後に評価を行う ただし、対象者の状況等に応じ、6カ月経過後で評価を実施することや、3カ月経過後の実績評価の終了後にさらに独自のフォローアップ等を行うことも可能とする</p>
	<p>◆積極的支援 初回面接から3カ月間(最低限実施の場合) 3カ月以上の継続的な支援を行う。また、当該3カ月以上の継続的な支援後に評価を行う ただし、対象者の状況等に応じ、6カ月経過後で評価を実施することや、3カ月経過後の実績評価の終了後にさらに独自のフォローアップ等を行うことも可能とする</p>
支援形態	<p>◆動機付け支援 ①面接による支援 1人20分以上の個別支援または、1グループおおむね80分以上のグループ支援(1グループはおおむね8名以下とする) ②行動計画の実績評価</p>
	<p>◆積極的支援 ①面接による支援 動機付け支援と同様の支援 ②3カ月以上の継続的な支援 ●支援A(積極的関与タイプ) 行動計画の実施状況の確認を行い、食生活・身体活動等の生活習慣の改善に必要な実践的な指導を行う 個別支援A・グループ支援A・電話支援A・電子メール支援A(電子メール・FAX・手紙等) ●支援B(励ましタイプ) 行動計画の実施状況の確認と励ましや賞賛をする支援を行う 個別支援B・電話支援B・電子メール支援B(電子メール・FAX・手紙等) ③行動計画の実績評価</p>
支援の方法	<p>◆動機付け支援 初回面接時に、行動目標・支援計画の作成、技術的指導を行う</p>
	<p>◆積極的支援 対象者が行動目標を達成するために必要な支援計画を立て、行動を継続できるように定期的かつ継続的に介入する 対象者が2年連続して積極的支援に該当した場合、1年目に比べ2年目の状態が改善している者については、動機づけ支援相当の支援を行う</p>

周知・案内方法	対象者宛てに個別に利用券、利用案内等を送付 広報紙、ホームページ等で周知
土日・祝日の実施	予定なし
自己負担	無料(教材、資料等にかかる直接経費の一部を自己負担)
実施者・外部委託先	健康増進課 場合によっては、外部委託検討
実施形態	健康増進課に執行委任 外部委託の場合は、保健指導機関と個別契約
外部委託の基準	「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準(平成19年厚生労働省令第百五十七号)」に基づき、厚生労働大臣が告示にて定める外部委託に関する基準を満たしている機関であること
データの提出	国の定める電子的標準様式により、医療保険者に対して支援計画及び実施報告書を提出
優先順位	生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者については、以下の項目に沿って優先的に取り組むこととする <ul style="list-style-type: none"> ●年齢が比較的若い対象者 ●健診結果に基づく保健指導レベルが動機付け支援から積極的支援レベルに移行する等、健診結果が前年度と比較して悪化し、より緻密な保健指導が必要になった対象者 ●質問項目の回答により、生活習慣改善の必要性が高い対象者 ●これまでに、積極的支援及び動機付け支援の対象者であったにも関わらず保健指導を受けなかった対象者

6. 年間スケジュール

特定健診・特定保健指導の年間スケジュールは以下のとおりです。

	平成30年度		平成31年度	
	特定健診	特定保健指導	特定健診	特定保健指導
4月	健診機関との契約			
5月	受診券送付			
6月	特定健診開始			
7月		保健指導対象者の抽出 利用券等の送付(毎月)		
8月		特定保健指導開始		
9月				特定保健指導終了
10月	特定健診(個別)終了		特定健診・特定保健指導法定報告結果	
11月	特定健診(集団)終了			
12月				
1月				
2月				
3月				

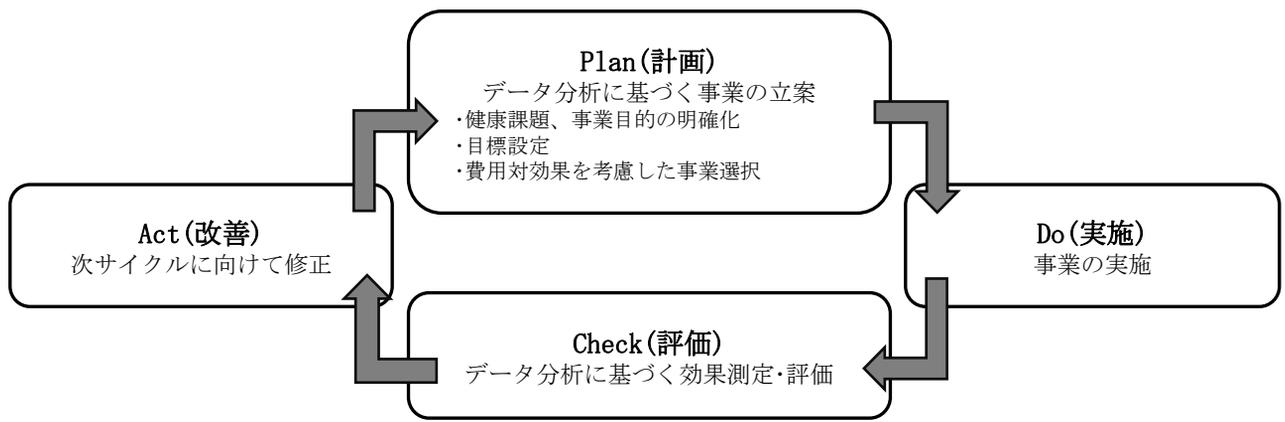
※30年度以降は繰り返し作業

第8章 計画の推進

1. 計画の評価及び見直し

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度進捗状況の評価を行うとともに、進行管理及び評価・見直しを行っていきます。評価・見直しに当たっては、亀岡市国民健康保険運営協議会や国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会等に指導・助言を求めながら適切な進行管理に努め、計画期間の最終年度には、総合的に評価を行います。

また、それぞれの事業方針に沿った取組の結果は、達成状況の点検、評価で終わらずに、結果を活用して、より効果的な保健事業の運営が行えるよう次期計画に向けて見直しを行います。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

2. 計画の公表・周知

本計画については、市広報や市ホームページに掲載することにより公表し、周知します。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

特定健診・特定保健指導については、実施率を高めると共に、被保険者に対し、保健事業を実施することの必要性について理解を深めてもらい、特定健診受診券や特定保健指導利用券発行・受診勧奨通知・市広報やホームページ等を活用した啓発を行うとともに、医師会をはじめ医療機関や地域の組織などと連携を図りながら、事業の周知・啓発に取り組んでいきます。

3. 個人情報の保護

個人情報の取扱いについては、「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」及び「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン(平成29年4月14日 個人情報保護委員会 厚生労働省)」、「亀岡市個人情報保護条例」、「亀岡市情報セキュリティ対策基準規程」に基づき、適切に対処します。

また、実施機関から提出された特定健診・特定保健指導結果データは、代行機関である国保連合会へ管理・保管を委託します。蓄積された特定健診等のデータの保管期限は、原則、記録の作成日の属する年度の翌年度から5年間を経過するまでの期間とします。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組みます。

また、地域包括ケアの構築に向けた議論の場として、地域包括ケア担当課や衛生担当課が開催する会議に参加し、健康・医療情報等の共有・分析を進めるとともに、特定健診、重症化予防事業などの実施状況や実施体制について情報を共有します。

5. 事業運営上の留意事項

(1) 計画の推進

本市の国保被保険者は年々高齢化が進んでおり、食生活の欧米化、社会構造の急激な変化によるストレスなどによる生活習慣病等が増加している状況です。そのため、健診受診の必要性を普及・啓発に努め、健康で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいきます。

(2) 関係機関との連携

特定健診・特定保健指導を円滑に実施していくため、病院や診療所の医療機関、保健指導機関と連携を図りながら、生活習慣病等の改善に取り組んでいきます。

(3) 地域との連携

メタボリックシンドロームの概念や健診受診等の必要性を普及・啓発していくため、食生活改善推進員協議会や地域活動栄養士グループをはじめ、老人クラブ連合会、さらにはスポーツ団体などの協力を得ながら、普及・啓発に努めていきます。

(4) 関連各課との連携

本市衛生部門や介護部門、教育委員会等で行っている健康づくりに関わる事業と連携を図りながら、被保険者の生活習慣病等の改善や健康づくりを支援していきます。

用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3か月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3か月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

亀岡市国民健康保険
第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)
第3期特定健康診査等実施計画

平成30年度～平成35年度

発行 平成30年3月
亀岡市 環境市民部 保険医療課
〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地
TEL(0771)22-3131(大代表) FAX(0771)24-5501
ホームページアドレス <http://www.city.kameoka.kyoto.jp>

